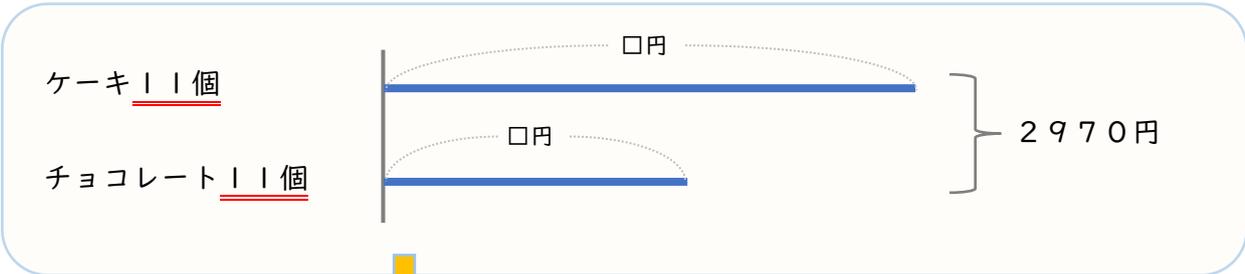


**さくさく和差算・下** **第1回の解答**

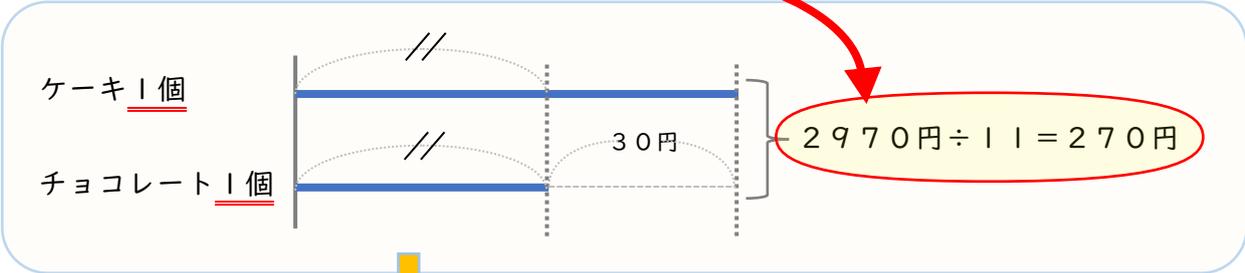
① (それぞれ1個の値を求める問題)

ケーキとチョコレートを11個ずつ買うと2970円でした。ケーキの代金はチョコレートの代金より30円高いそうです。1個の代金はそれぞれいくらでしょうか。

ケーキとチョコレート、それぞれ11個ずつのとき、和は2970円



ケーキとチョコレート、それぞれ1個ずつのとき、差は30円。



合わせて 270円 (和)    ちがいは 30円 (差)  
 求めるのは、それぞれ1個の代金 (値段)。  
 ① ケーキ から差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。(チョコレート)  
     チョコレートに差を足す。(ケーキ)  
 (①) チョコレートに差を足して、ケーキと同じ値にする。それを2で割る。(ケーキ)  
     ケーキから差を引く。(チョコレート)

【式】①  $2970 \div 11 = 270$  (各1個の和)      (①)  $2970 \div 11 = 270$  (各1個の和)  
        $(270 - 30) \div 2 = 120$  (チョコレート)     $(270 + 30) \div 2 = 150$  (ケーキ)  
        $120 + 30 = 150$  (ケーキ)                     $150 - 30 = 120$  (チョコレート)

【答え】 ケーキ 150円    チョコレート 120円

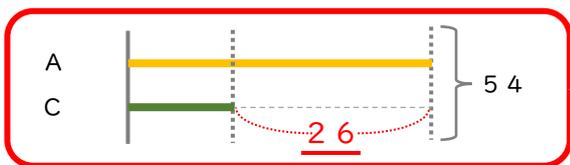
② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が63、BとCの和が37、AとCの和が54のとき、Cはいくつになりますか。

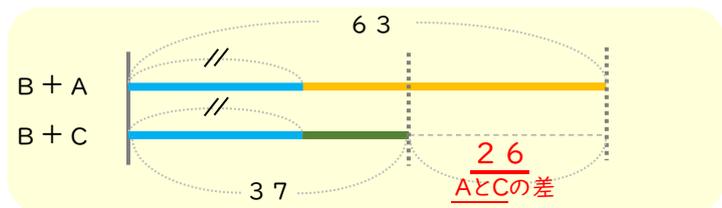
AとBの和が63  
 BとCの和が37  
 AとCの和が54

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が63 と BとCの和が37 よりAとCの差を求める。



和と差が分かる



求めるのはCの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・AとC 合わせて 54 (和) AとC ちがいは 26 (差)  
 Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

【式】  $63 - 37 = 26$  (AとCの差)  
 $(54 - 26) \div 2 = 14$  (C)

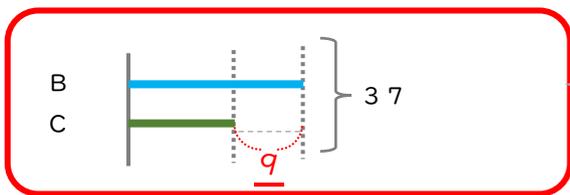
【答え】           C 14

※その他の方法

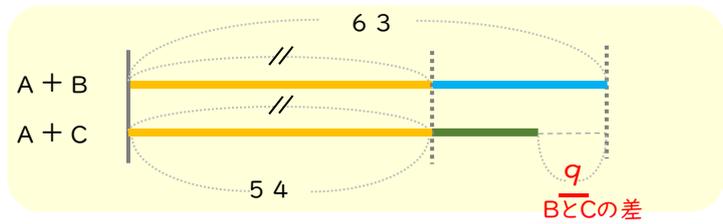
AとBの和が63  
 BとCの和が37  
 AとCの和が54

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が63 と AとCの和が54 よりBとCの差を求める。



和と差が分かる

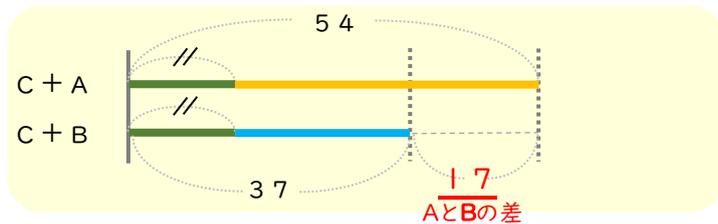
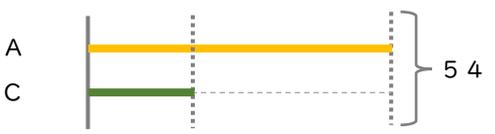
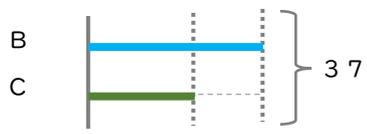
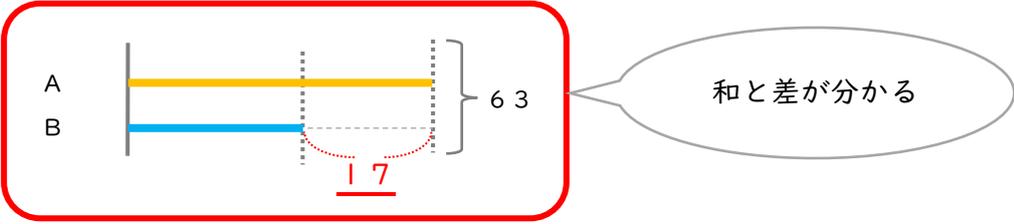


求めるのはCの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・BとC 合わせて 37 (和) BとC ちがいは 9 (差)  
 Bから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

【式】  $63 - 54 = 9$  (BとCの差)  
 $(37 - 9) \div 2 = 14$  (C)

【答え】           C 14

AとBの和が63  
 BとCの和が37  
 AとCの和が54 } 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 ☆ BとCの和が37 と AとCの和が54 よりAとBの差を求める。



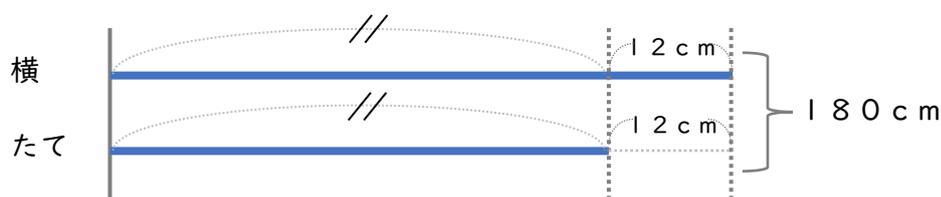
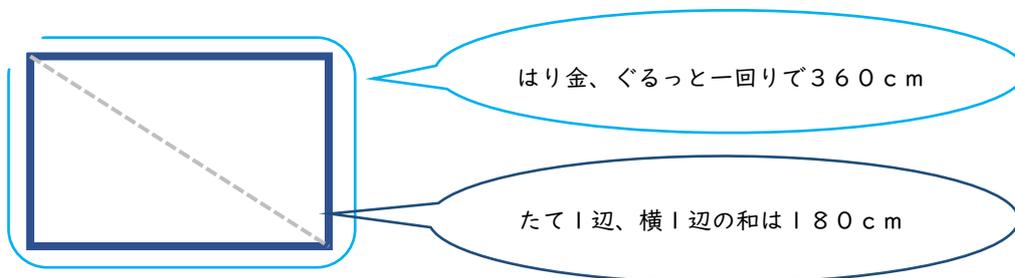
求めるのはCの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・AとB 合わせて 63 (和) AとB ちがいは 17 (差)  
 Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B) Bに差を足す。(A)  
 $B + C = 37$ なので  $37 - B = C$   
 $A + C = 54$ なので  $54 - A = C$

【式】  $54 - 37 = 17$  (AとBの差)  
 $(63 - 17) \div 2 = 23$  (B)  
 $23 + 17 = 40$  (A)  
 $37 - 23 = 14$  (C)  
 $54 - 40 = 14$  (C)

【答え】           C 14

③ (長方形の問題)

長さが360cmあるはり金を折り曲げて、横の長さがたての長さより12cm長い長方形をつくりました。この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 180cm (和)      ちがいは 12cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ①横から差を引いて、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて)    たてに差を足す。(横)
- (①)たてに差を足して、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横)    横から差を引く。(たて)

【式】 ①  $360 \div 2 = 180$   
 $(180 - 12) \div 2 = 84$  (たて)  
 $84 + 12 = 96$  (横)  
 $84 \times 96 = 8064$

(①)  $360 \div 2 = 180$   
 $(180 + 12) \div 2 = 96$  (横)  
 $96 - 12 = 84$  (たて)  
 $96 \times 84 = 8064$

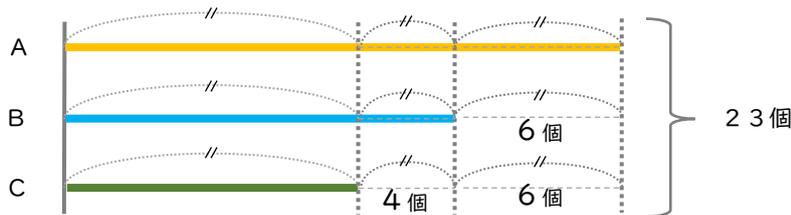
【答え】 8064cm<sup>2</sup>

④ (割り切れる場合を考える問題)

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、23個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは6個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき (Bが2番目に多いとき)〉



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 23 (和)

AとB ちがいは 6 (差) BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは  $6 + 4 + 6 = 16$  (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(23 + 16) \div 3 = 13$  (A)

【式】

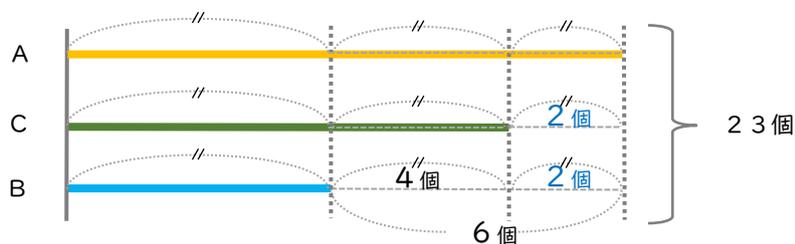
$6 + 4 + 6 = 16$

$(23 + 16) \div 3 = 13$  (A)

【答え】 Aくん 13個

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、23個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは6個、BくとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 23 (和)

AとB ちがいは 6 (差) BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは  $6 + (6 - 4) = 8$  (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(23 + 6 + 2) \div 3 = 10 \dots 1$  (A) 割り切れない

ケース2は割り切れないので違う

【式】

$$6 + (6 - 4) = 8$$

$$(23 + 8) \div 3 = 10 \dots 1 \text{ (A) 割り切れないので違う}$$

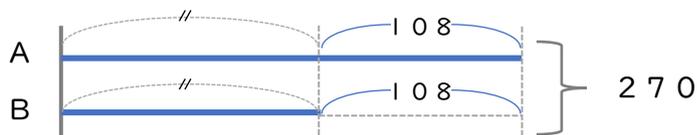
⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を2倍しても、その差を5倍しても540になります。それぞれいくつでしょうか。

$$\begin{array}{ll} (A+B) \times 2 = 540 & (A-B) \times 5 = 540 \\ A+B = 540 \div 2 = 270 & A-B = 540 \div 5 = 108 \end{array}$$

合わせて 270 (和)      ちがいは 108 (差)  
 求めるのは、それぞれの数

- ① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B)    Bに差を足してA。  
 (①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A)    Aから差を引いてB



【式】 ①  $540 \div 2 = 270$   
 $540 \div 5 = 108$   
 $(270 - 108) \div 2 = 81$  (B)  
 $81 + 108 = 189$  (A)

【式】 (①)  $540 \div 2 = 270$   
 $540 \div 5 = 108$   
 $(270 + 108) \div 2 = 189$  (A)  
 $189 - 108 = 81$  (B)

【答え】         A 189        B 81

**さくさく和差算・下** **第2回の解答**

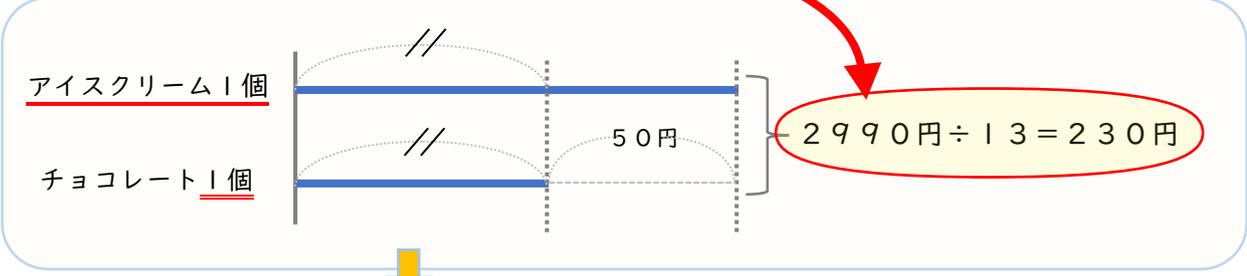
① (それぞれ1個の値を求める問題)

チョコレートとアイスクリームを13個ずつ買うと2990円でした。チョコレートの代金がアイスクリームの代金より50円安いとき、1個の代金はそれぞれいくらでしょうか。

チョコレートと、アイスクリームそれぞれ13個ずつのとき、和は2990円



アイスクリームとチョコレート、それぞれ1個ずつのとき、差は50円。



合わせて 230円 (和)    ちがいは 50円 (差)  
 求めるのは、それぞれ1個の代金 (値段)。  
 ①アイスクリーム から差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。(チョコレート)  
 チョコレートに差を足す。(アイスクリーム)  
 (①)チョコレートに差を足して、アイスクリームと同じ値にする。それを2で割る。(アイスクリーム)  
 アイスクリームから差を引く。(チョコレート)

**【式】** ①  $2990 \div 13 = 230$  (各1個の和)      (①)  $2970 \div 13 = 230$  (各1個の和)  
 $(230 - 50) \div 2 = 90$  (チョコレート)       $(230 + 50) \div 2 = 140$  (アイスクリーム)  
 $90 + 50 = 140$  (アイスクリーム)       $140 - 50 = 90$  (チョコレート)

**【答え】** チョコレート 90円    アイスクリーム 140円

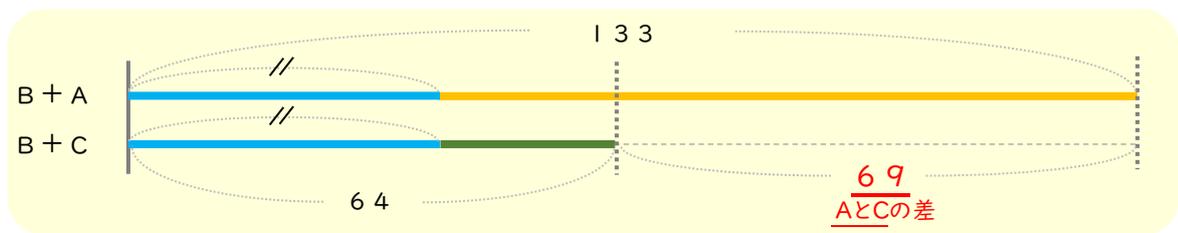
② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が133、BとCの和が64、AとCの和が115のとき、Cはいくつになりますか。

AとBの和が 133  
 BとCの和が 64  
 AとCの和が 115

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が 133 と BとCの和が 64 よりAとCの差を求める。



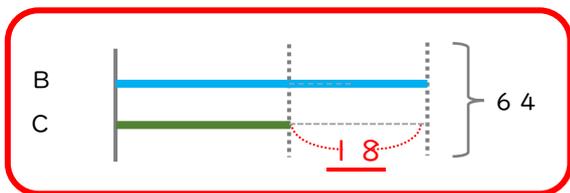
求めるのは Cの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・ AとC 合わせて 115 (和) AとC ちがいは 69 (差)  
 Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

【式】  $133 - 64 = 69$  (AとCの差)  
 $(115 - 69) \div 2 = 23$  (C)

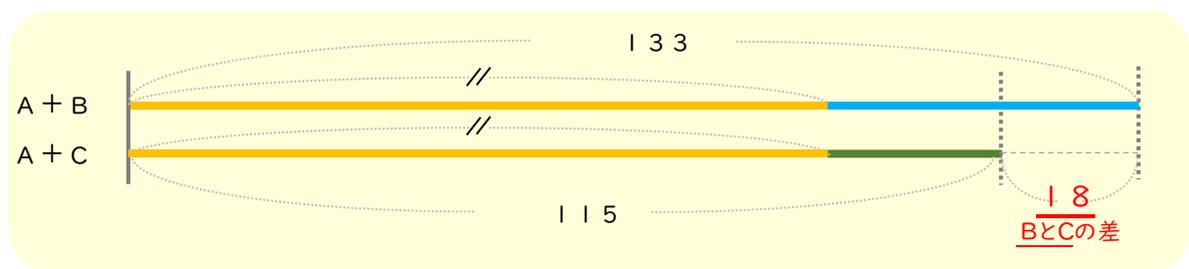
【答え】           C 23

※その他の方法

AとBの和が 133  
 BとCの和が 64  
 AとCの和が 115 } 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 ☆ AとBの和が 133 と AとCの和が 115 よりBとCの差を求める。



和と差が分かる

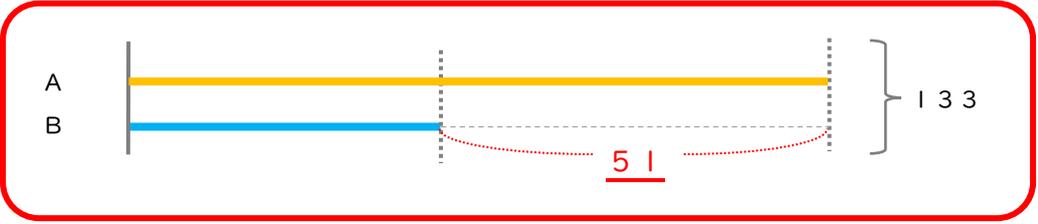


求めるのはCの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・BとC 合わせて 64 (和) BとC ちがいは 18 (差)  
 Bから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

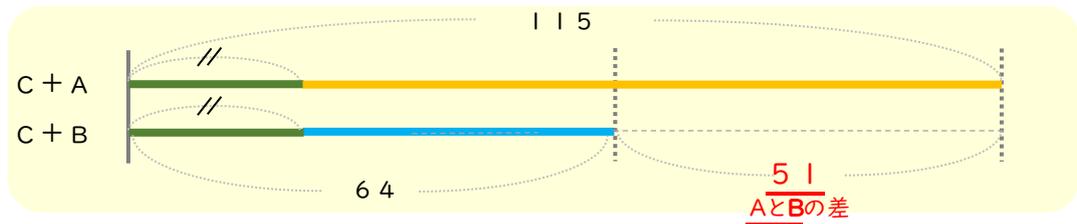
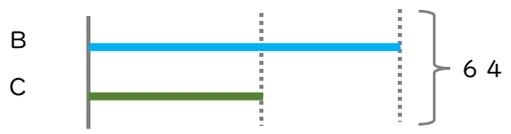
【式】  $133 - 115 = 18$  (BとCの差)  
 $(64 - 18) \div 2 = 23$  (C)

【答え】           C 2 3

AとBの和が 133  
 BとCの和が 64  
 AとCの和が 115 } 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 ☆ BとCの和が 64 と AとCの和が 115 よりAとBの差を求める。



和と差が分かる



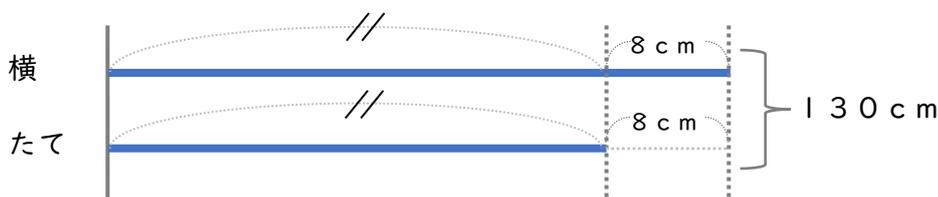
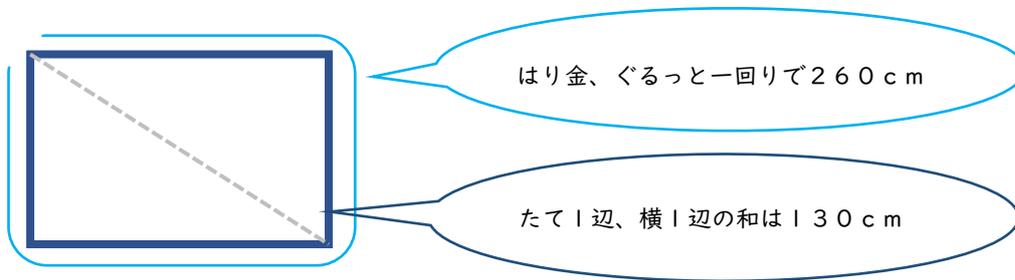
求めるのは Cの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・ AとB 合わせて 133 (和) AとB ちがいは 51 (差)  
 Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B) Bに差を足す。(A)  
 $B + C = 64$  なので  $64 - B = C$   
 $A + C = 115$  なので  $115 - A = C$

【式】  $115 - 64 = 51$  (AとBの差)  
 $(133 - 51) \div 2 = 41$  (B)  
 $41 + 51 = 92$  (A)  
 $64 - 41 = 23$  (C)  
 $115 - 92 = 23$  (C)

【答え】           C 2 3

③ (長方形の問題)

長さが260cmあるはり金を折り曲げて、横の長さがたての長さより8cm長い長方形をつくりました。この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 130cm (和)      ちがいは 8cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ①横から差を引いて、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて)    たてに差を足す。(横)
- (①)たてに差を足して、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横)    横から差を引く。(たて)

【式】 ①  $260 \div 2 = 130$   
 $(130 - 8) \div 2 = 61$  (たて)  
 $61 + 8 = 69$  (横)  
 $61 \times 69 = 4209$

(①)  $260 \div 2 = 130$   
 $(130 + 8) \div 2 = 69$  (横)  
 $69 - 8 = 61$  (たて)  
 $69 \times 61 = 4209$

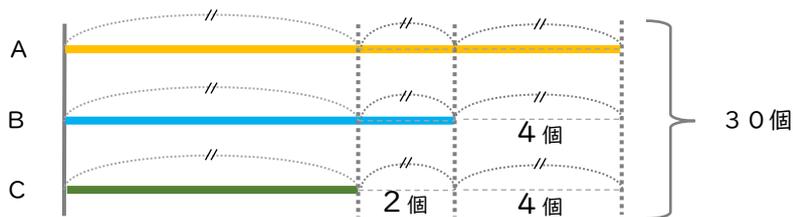
【答え】 4209cm<sup>2</sup>

④ (割り切れる場合を考える問題)

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、30個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは4個、BくんとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき (Bが2番目に多いとき)〉



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 30 (和)

AとB ちがいは 4 (差) BとC ちがいは 2 (差)

AとB+C ちがいは  $4 + 2 + 4 = 10$  (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(30 + 10) \div 3 = 13 \dots 1$  (A)

ケース1は割り切れないので違う。

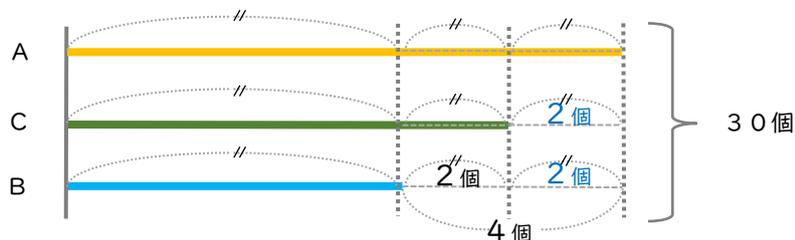
【式】

$4 + 2 + 4 = 10$

$(30 + 10) \div 3 = 13 \dots 1$  (A) 割り切れない

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、30個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは4個、BくとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 30 (和)

AとB ちがいは 4 (差)    BとC ちがいは 2 (差)

AとB+C ちがいは 4 + (4 - 2) = 6 (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(30 + 6) \div 3 = 12$  (A)

【式】

$4 + (4 - 2) = 6$

$(30 + 6) \div 3 = 12$  (A)

【答え】 Aくん 12個

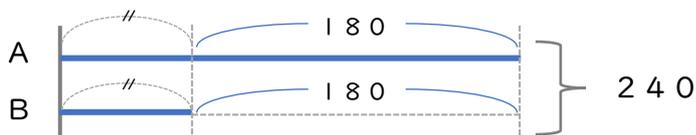
⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を3倍しても、その差を4倍しても720になります。それぞれいくつでしょうか。

$$\begin{array}{ll} (A+B) \times 3 = 720 & (A-B) \times 4 = 720 \\ A+B = 720 \div 3 = 240 & A-B = 720 \div 4 = 180 \end{array}$$

合わせて 240 (和)      ちがいは 180 (差)  
 求めるのは、それぞれの数

- ① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B)    Bに差を足してA。  
 (①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A)    Aから差を引いてB



【式】 ①  $720 \div 3 = 240$   
 $720 \div 4 = 180$   
 $(240 - 180) \div 2 = 30$  (B)  
 $30 + 180 = 210$  (A)

【式】 (①)  $720 \div 3 = 240$   
 $720 \div 4 = 180$   
 $(240 + 180) \div 2 = 210$  (A)  
 $210 - 180 = 30$  (B)

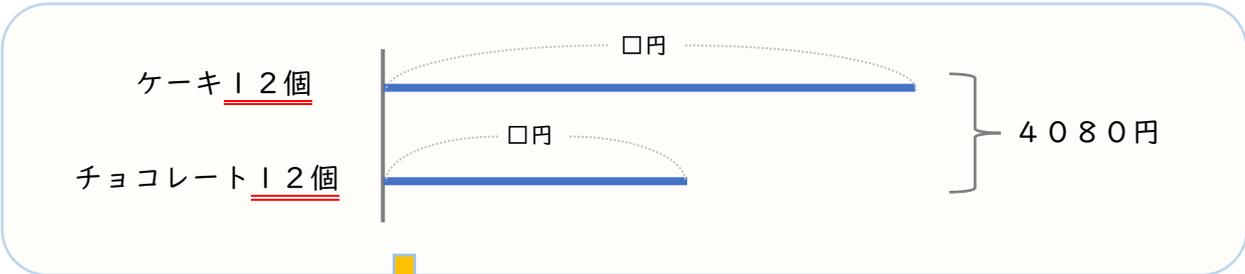
【答え】     A 210    B 30

**さくさく和差算・下** **第3回の解答**

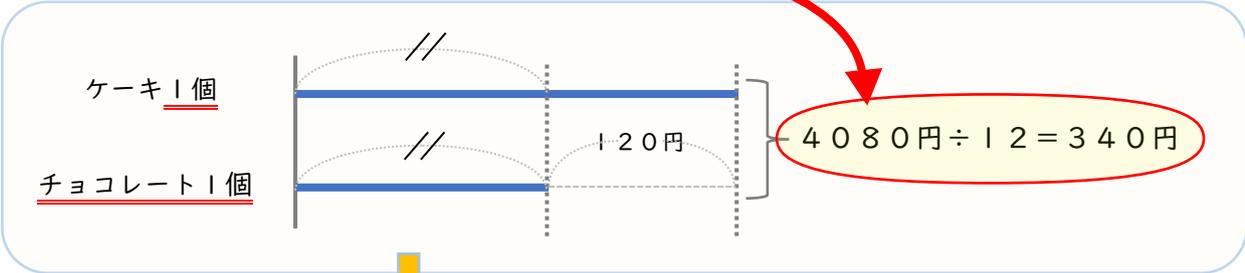
① (それぞれ1個の値を求める問題)

チョコレートとケーキを12個ずつ買うと4080円でした。チョコレートの代金はケーキの代金より120円安いそうです。1個の代金はそれぞれいくらでしょう。

チョコレートと、ケーキそれぞれ12個ずつのとき、和は4080円



チョコレートとケーキ、それぞれ1個ずつのとき、差は120円。



合わせて 340円 (和)    ちがいは 120円 (差)  
 求めるのは、それぞれ1個の代金 (値段)。  
 ① ケーキから差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。(チョコレート)  
     チョコレートに差を足す。(ケーキ)  
 (①) チョコレートに差を足して、ケーキと同じ値にする。それを2で割る。(ケーキ)  
     ケーキから差を引く。(チョコレート)

**【式】** ①  $4080 \div 12 = 340$  (各1個の和)                      (①)  $4080 \div 12 = 340$  (各1個の和)  
           $(340 - 120) \div 2 = 110$  (チョコレート)                       $(340 + 120) \div 2 = 230$  (ケーキ)  
           $110 + 120 = 230$  (ケーキ)     $230 - 120 = 110$  (チョコレート)

**【答え】** チョコレート 110円    ケーキ 230円

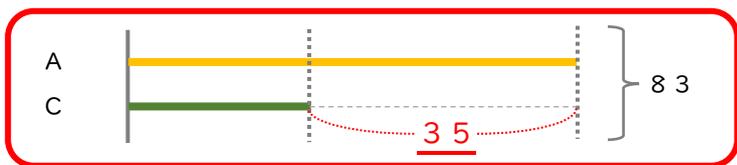
② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が88、BとCの和が53、AとCの和が83のとき、Cはいくつになりますか。

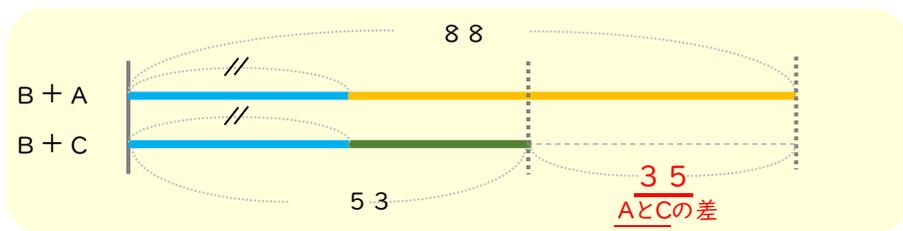
AとBの和が88  
 BとCの和が53  
 AとCの和が83

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が88 と BとCの和が53 よりAとCの差を求める。



和と差が  
分かる



求めるのはCの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・AとC 合わせて 88 (和) AとC ちがいは 35 (差)  
 Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

【式】  $88 - 53 = 35$  (AとCの差)  
 $(83 - 35) \div 2 = 24$  (C)

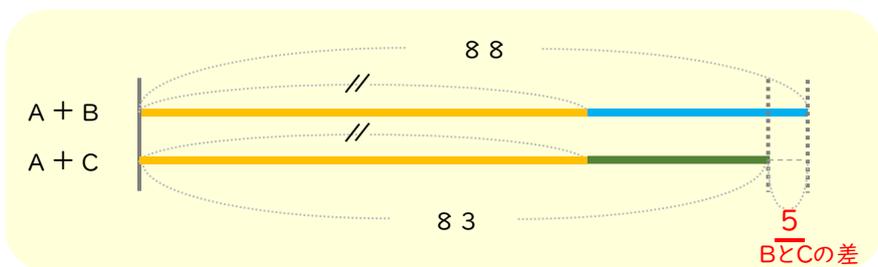
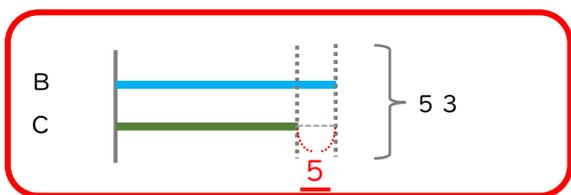
【答え】           C 2 4

※その他の方法

AとBの和が88  
 BとCの和が53  
 AとCの和が83

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が88 と AとCの和が83 よりBとCの差を求める。

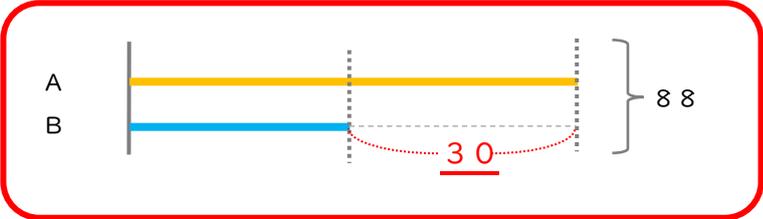


求めるのはCの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・BとC 合わせて 53 (和) BとC ちがいは 5 (差)  
 Bから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

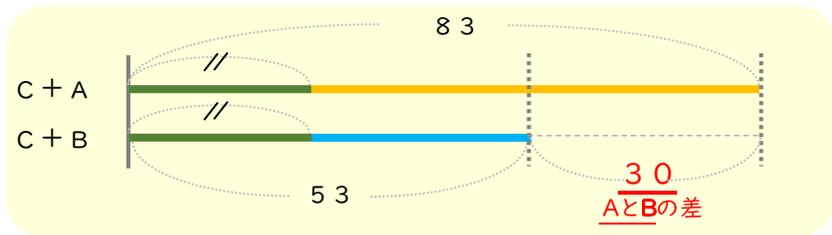
【式】  $88 - 83 = 5$  (BとCの差)  
 $(53 - 5) \div 2 = 24$  (C)

【答え】           C 24

AとBの和が88  
 BとCの和が53  
 AとCの和が83 } 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 ☆ BとCの和が53 と AとCの和が83 よりAとBの差を求める。



和と差が分かる



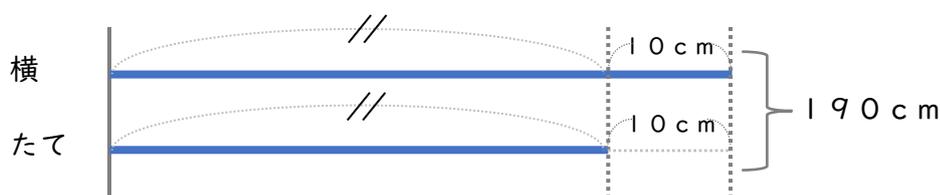
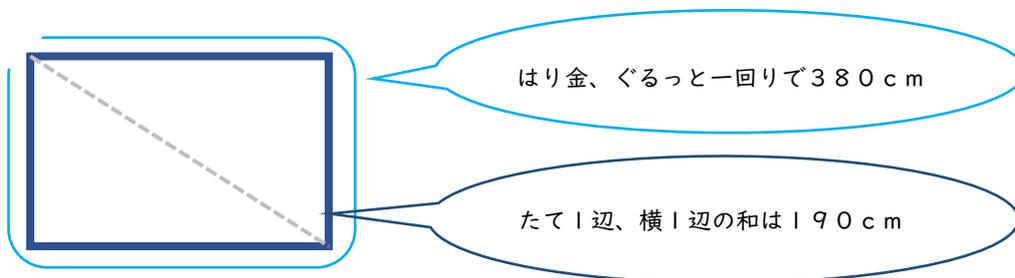
求めるのはCの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・AとB 合わせて 88 (和) AとB ちがいは 30 (差)  
 Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B) Bに差を足す。(A)  
 $B + C = 53$ なので  $53 - B = C$   
 $A + C = 83$ なので  $83 - A = C$

【式】  $83 - 53 = 30$  (AとBの差)  
 $(88 - 30) \div 2 = 29$  (B)  
 $29 + 30 = 59$  (A)  
 $53 - 29 = 24$  (C)  
 $83 - 59 = 24$  (C)

【答え】           C 24

③（長方形の問題）

長さが380cmあるはり金を折り曲げて、横の長さがたての長さより10cm長い長方形をつくりました。この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 190cm (和)      ちがいは 10cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ①横から差を引いて、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて)    たてに差を足す。(横)
- (①)たてに差を足して、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横)    横から差を引く。(たて)

【式】 ①  $380 \div 2 = 190$   
 $(190 - 10) \div 2 = 90$  (たて)  
 $90 + 10 = 100$  (横)  
 $90 \times 100 = 9000$

(①)  $380 \div 2 = 190$   
 $(190 + 10) \div 2 = 100$  (横)  
 $100 - 10 = 90$  (たて)  
 $100 \times 90 = 9000$

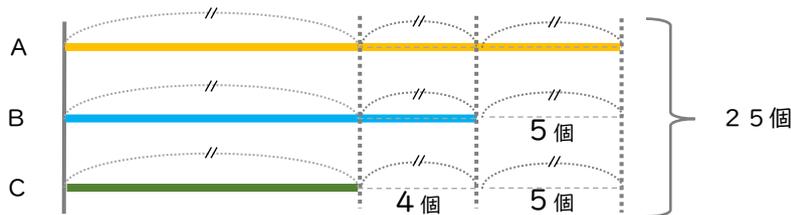
【答え】 9000cm<sup>2</sup>

④ (割り切れる場合を考える問題)

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、25個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは5個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき (Bが2番目に多いとき)〉



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 25 (和)

AとB ちがいは 5 (差) BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは  $5 + 4 + 5 = 14$  (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(25 + 14) \div 3 = 13$  (A)

【式】

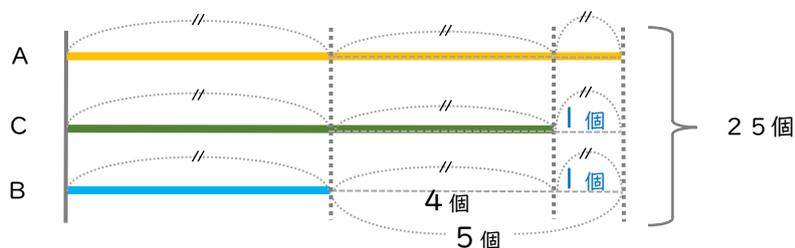
$5 + 4 + 5 = 14$

$(25 + 14) \div 3 = 13$  (A)

【答え】 Aくん 13個

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、25個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは5個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 25 (和)

AとB ちがいは 5 (差)    BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは  $5 + (5 - 4) = 6$  (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(25 + 6) \div 3 = 10 \dots 1$  (A) 割り切れない

ケース2は割り切れないので違う

【式】

$$5 + (5 - 4) = 6$$

$$(25 + 6) \div 3 = 10 \dots 1 \text{ (A) 割り切れないので違う}$$

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を4倍しても、その差を7倍しても1456になります。それぞれいくつでしょうか。

$$(A + B) \times 4 = 1456$$

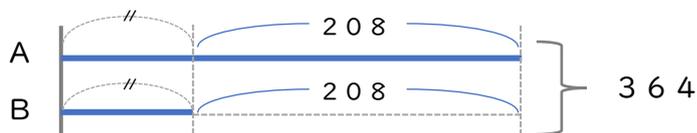
$$A + B = 1456 \div 4 = 364$$

$$(A - B) \times 7 = 1456$$

$$A - B = 1456 \div 7 = 208$$

合わせて 364 (和)      ちがいは 208 (差)  
 求めるのは、それぞれの数

- ① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B)    Bに差を足してA。  
 (①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A)    Aから差を引いてB



【式】 ①  $1456 \div 4 = 364$   
 $1456 \div 7 = 208$   
 $(364 - 208) \div 2 = 78$  (B)  
 $78 + 208 = 286$  (A)

【式】 (①)  $1456 \div 4 = 364$   
 $1456 \div 7 = 208$   
 $(364 + 208) \div 2 = 286$  (A)  
 $286 - 208 = 78$  (B)

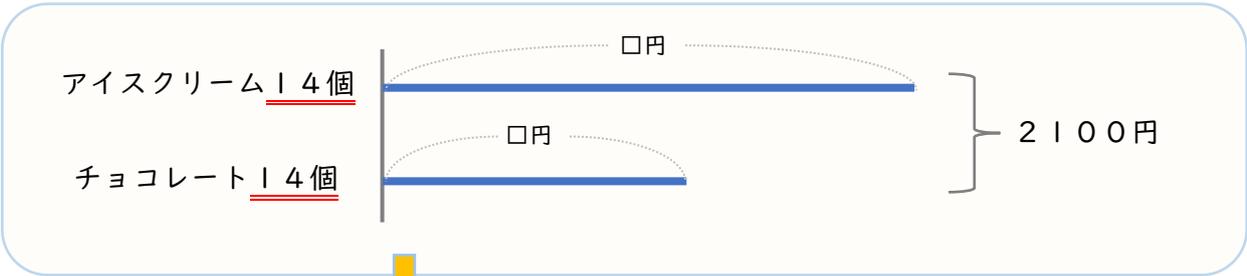
【答え】         A 286        B 78

**さくさく和差算・下** **第4回の解答**

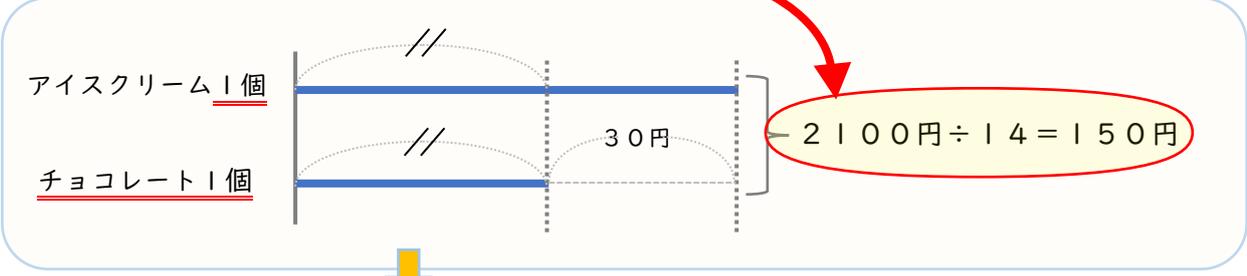
① (それぞれ1個の値を求める問題)

チョコレートとアイスクリームを14個ずつ買うと2100円でした。チョコレートの代金がアイスクリームの代金より30円安いとき、1個の代金はそれぞれいくらでしょうか。

チョコレートと、アイスクリームそれぞれ14個ずつのとき、和は2100円



チョコレートとアイスクリーム、それぞれ1個ずつのとき、差は30円。



合わせて 150円 (和)    ちがいは 30円 (差)  
 求めるのは、それぞれ1個の代金 (値段)。  
 ① アイスクリームから差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。(チョコレート)  
 チョコレートに差を足す。(アイスクリーム)  
 (①) チョコレートに差を足して、アイスクリームと同じ値にする。それを2で割る。(アイスクリーム)  
 アイスクリームから差を引く。(チョコレート)

【式】 ①  $2100 \div 14 = 150$  (各1個の和)  
 $(150 - 30) \div 2 = 60$  (チョコレート)  
 $60 + 30 = 90$  (ケーキ)

(①)  $2100 \div 14 = 150$  (各1個の和)  
 $(150 + 30) \div 2 = 90$  (ケーキ)  
 $90 - 30 = 60$  (チョコレート)

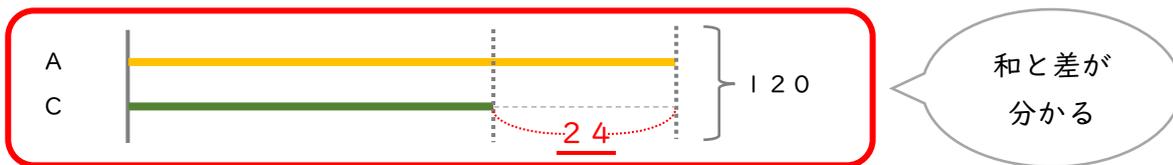
【答え】 チョコレート 60円    ケーキ 90円

② (和が3つある問題)

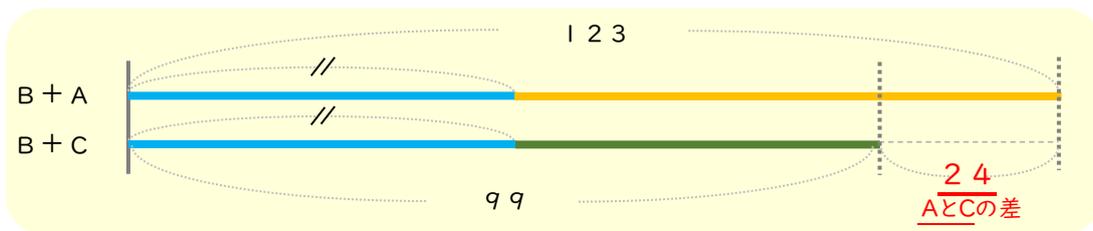
3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が123、BとCの和が99、AとCの和が120のとき、Cはいくつになりますか。

AとBの和が 123  
 BとCの和が 99  
 AとCの和が 120 } 3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が 123 と BとCの和が 99 よりAとCの差を求める。



和と差が分かる



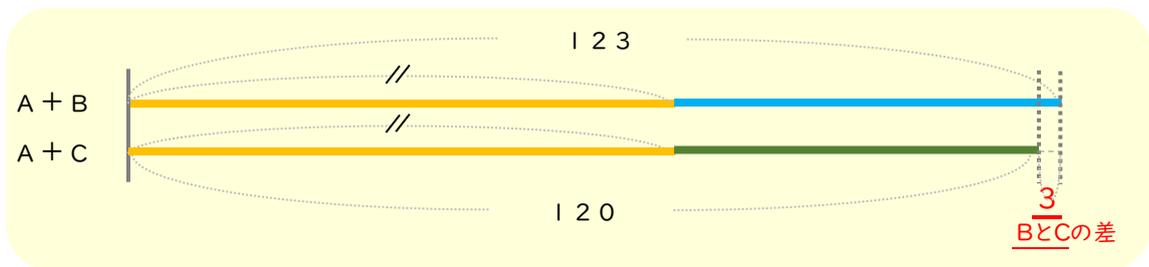
求めるのは Cの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・ AとC 合わせて 120 (和) AとC ちがいは 24 (差)  
 Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

【式】  $123 - 99 = 24$  (AとCの差)  
 $(120 - 24) \div 2 = 48$  (C)

【答え】           C 4 8

※その他の方法

AとBの和が 123  
 BとCの和が 99  
 AとCの和が 120 } 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 ☆ AとBの和が 123 と AとCの和が 120 よりBとCの差を求める。

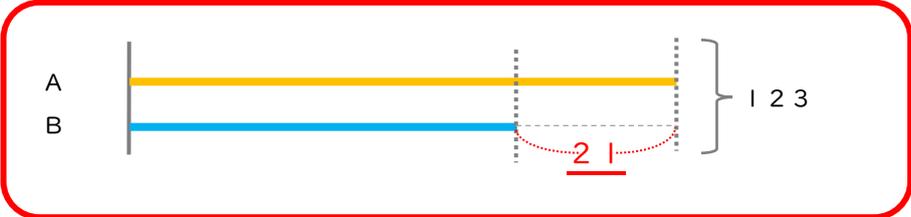


求めるのはCの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・BとC 合わせて 99 (和) BとC ちがいは 3 (差)  
 Bから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

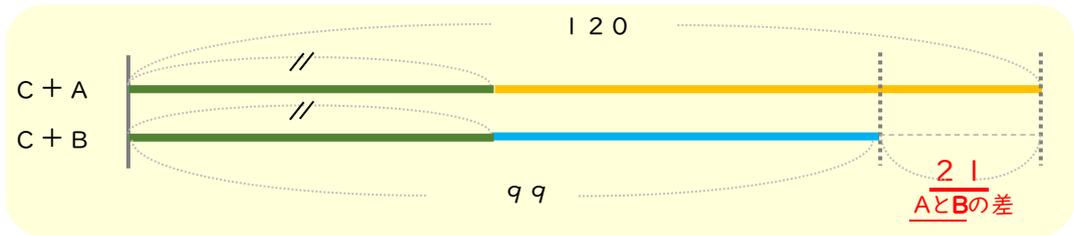
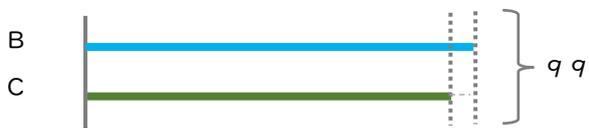
【式】  $123 - 120 = 3$  (BとCの差)  
 $(99 - 3) \div 2 = 48$  (C)

【答え】           C 4 8

AとBの和が123  
 BとCの和が99  
 AとCの和が120 } 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 ☆ BとCの和が99 と AとCの和が120 よりAとBの差を求める。



和と差が分かる



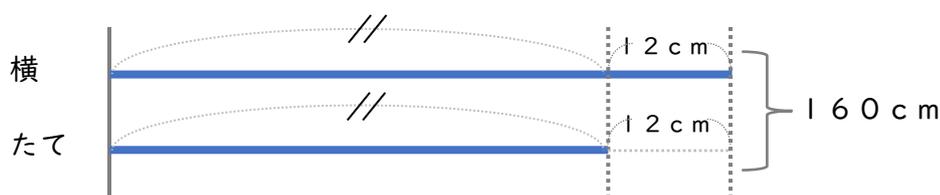
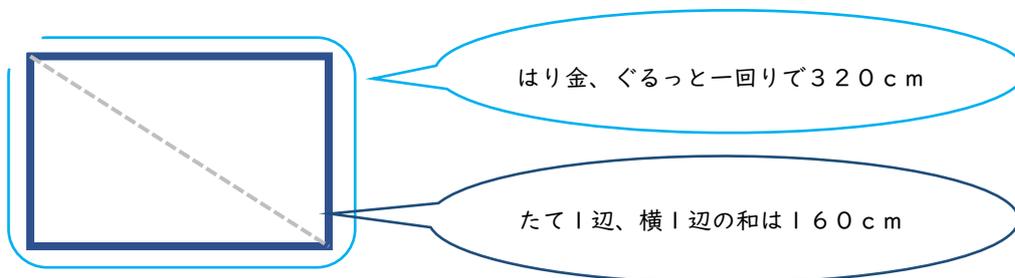
求めるのはCの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・AとB 合わせて 123 (和) AとB ちがいは 21 (差)  
 Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B) Bに差を足す。(A)  
 $B + C = 99$ なので  $99 - B = C$   
 $A + C = 120$ なので  $120 - A = C$

【式】  $120 - 99 = 21$  (AとBの差)  
 $(123 - 21) \div 2 = 51$  (B)  
 $51 + 21 = 72$  (A)  
 $99 - 51 = 48$  (C)  
 $120 - 72 = 48$  (C)

【答え】           C 4 8

③（長方形の問題）

長さが320cmあるはり金を折り曲げて、横の長さがたての長さより12cm長い長方形をつくりました。この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 160cm (和)      ちがいは 12cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ①横から差を引いて、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて)    たてに差を足す。(横)
- (①)たてに差を足して、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横)    横から差を引く。(たて)

【式】 ①  $320 \div 2 = 160$   
 $(160 - 12) \div 2 = 74$  (たて)  
 $74 + 12 = 86$  (横)  
 $74 \times 86 = 6364$

(①)  $320 \div 2 = 160$   
 $(160 + 12) \div 2 = 86$  (横)  
 $86 - 12 = 74$  (たて)  
 $86 \times 74 = 6364$

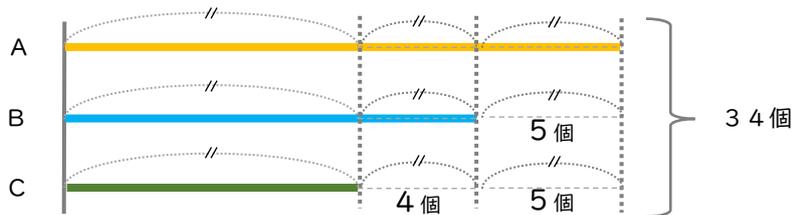
【答え】 6364cm<sup>2</sup>

④ (割り切れる場合を考える問題)

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、34個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは5個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき (Bが2番目に多いとき)〉



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 34 (和)

AとB ちがいは 5 (差) BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは  $5 + 4 + 5 = 14$  (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(34 + 14) \div 3 = 16$  (A)

【式】

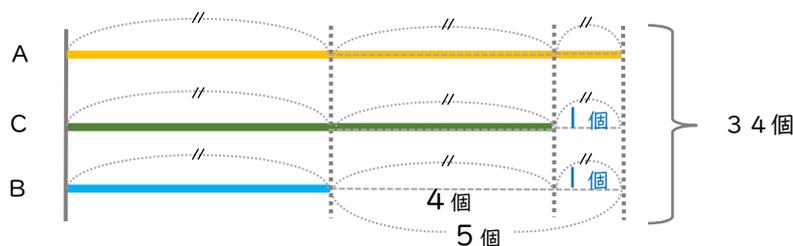
$$5 + 4 + 5 = 14$$

$$(34 + 14) \div 3 = 16 \text{ (A)}$$

【答え】 Aくん 16個

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、34個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは5個、BくとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 34 (和)

AとB ちがいは 5 (差) BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは  $5 + (5 - 4) = 6$  (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(34 + 6) \div 3 = 13 \dots 1$  (A) 割り切れない

ケース2は割り切れないので違う

【式】

$$5 + (5 - 4) = 6$$

$$(34 + 6) \div 3 = 13 \dots 1 \text{ (A) 割り切れないので違う}$$

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を3倍しても、その差を8倍しても1056になります。それぞれいくつでしょう。

$$(A + B) \times 3 = 1056$$

$$(A - B) \times 8 = 1056$$

$$A + B = 1056 \div 3 = 352$$

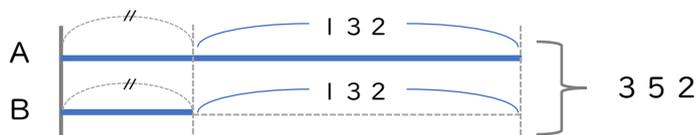
$$A - B = 1056 \div 8 = 132$$

合わせて 352 (和)      ちがいは 132 (差)

求めるのは、それぞれの数

① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B)      Bに差を足してA。

② Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A)      Aから差を引いてB



【式】 ①  $1056 \div 3 = 352$

$$1056 \div 8 = 132$$

$$(352 - 132) \div 2 = 110 \text{ (B)}$$

$$110 + 132 = 242 \text{ (A)}$$

【式】 ②  $1056 \div 3 = 352$

$$1056 \div 8 = 132$$

$$(352 + 132) \div 2 = 242 \text{ (A)}$$

$$242 - 132 = 110 \text{ (B)}$$

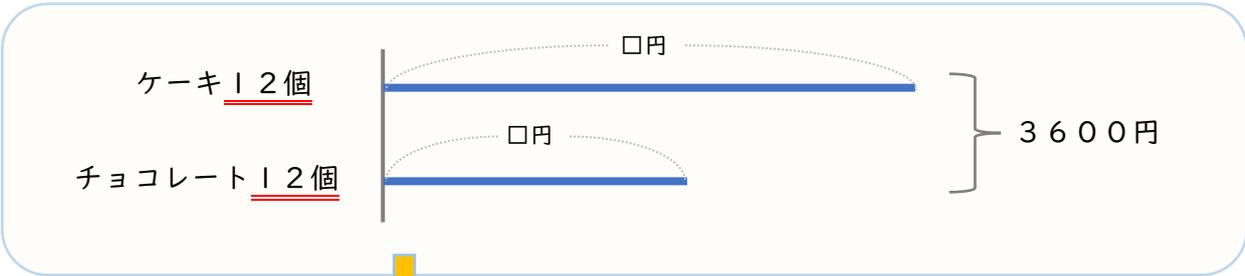
【答え】 A 242      B 110

**さくさく和差算・下** **第5回の解答**

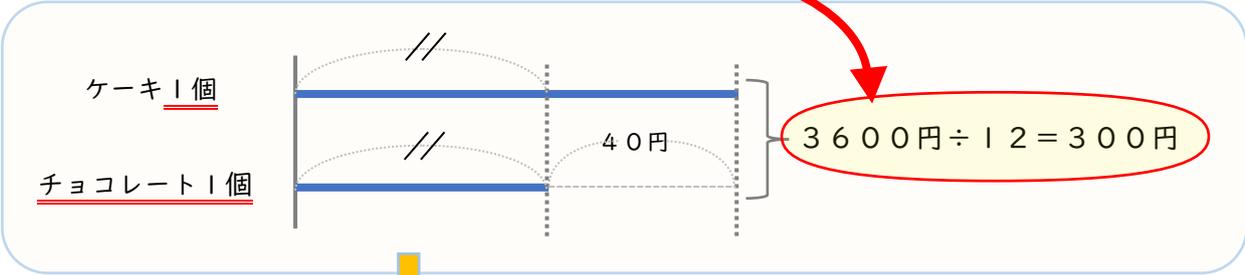
① (それぞれ1個の値を求める問題)

チョコレートとケーキを12個ずつ買うと3600円でした。チョコレートの代金はケーキの代金より40円安いそうです。1個の代金はそれぞれいくらでしょうか。

チョコレートと、ケーキそれぞれ12個ずつのとき、和は3600円



チョコレートとケーキ、それぞれ1個ずつのとき、差は40円。



合わせて 300円 (和)    ちがいは 40円 (差)  
 求めるのは、それぞれ1個の代金 (値段)。  
 ① ケーキから差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。(チョコレート)  
     チョコレートに差を足す。(ケーキ)  
 (①) チョコレートに差を足して、ケーキと同じ値にする。それを2で割る。(ケーキ)  
     ケーキから差を引く。(チョコレート)

<p>【式】 ① <math>3600 \div 12 = 300</math> (各1個の和)  <math>(300 - 40) \div 2 = 130</math> (チョコレート)  <math>130 + 40 = 170</math> (ケーキ)</p>	<p>(①) <math>3600 \div 12 = 300</math> (各1個の和)  <math>(300 + 40) \div 2 = 170</math> (ケーキ)  <math>170 - 40 = 130</math> (チョコレート)</p>
--	--

【答え】 チョコレート 130円    ケーキ 170円

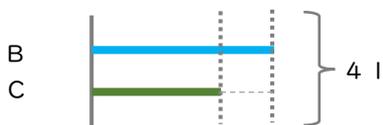
② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が82、BとCの和が41、AとCの和が75のとき、Cはいくつになりますか。

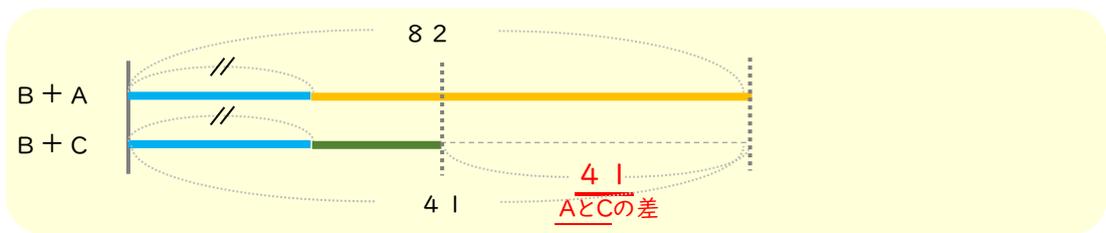
AとBの和が82  
 BとCの和が41  
 AとCの和が75

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が82 と BとCの和が41よりAとCの差を求める。



和と差が分かる



求めるのはCの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・AとC 合わせて 75 (和) AとC ちがいは 41 (差)  
 Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

【式】  $82 - 41 = 41$  (AとCの差)  
 $(75 - 41) \div 2 = 17$  (C)

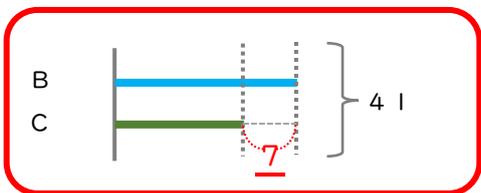
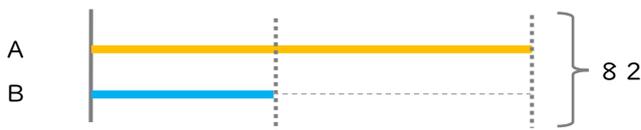
【答え】           C 17

※その他の方法

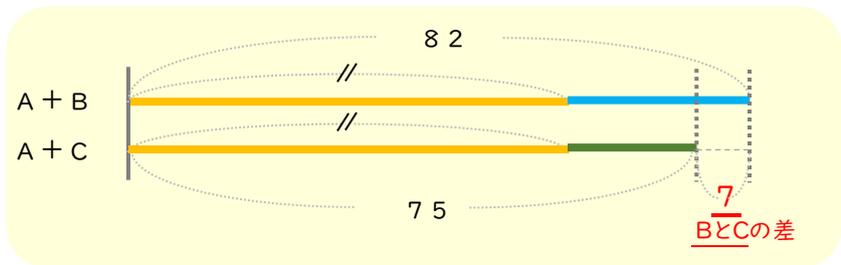
AとBの和が 82  
 BとCの和が 41  
 AとCの和が 75

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が 82 と AとCの和が 75 よりBとCの差を求める。



和と差が分かる



求めるのは Cの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・ BとC 合わせて 41 (和) BとC ちがいは 7 (差)

Bから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

【式】  $82 - 75 = 7$  (BとCの差)  
 $(41 - 7) \div 2 = 17$  (C)

【答え】           C 17

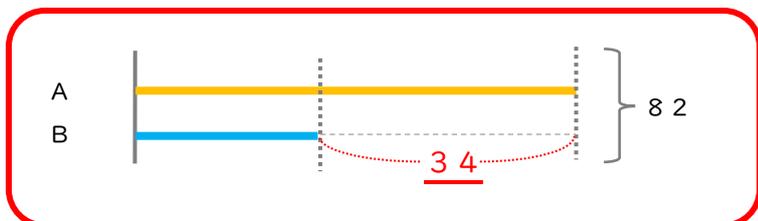
AとBの和が82

BとCの和が41

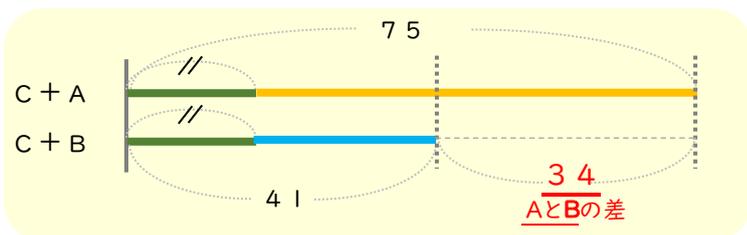
AとCの和が75

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ BとCの和が41 と AとCの和が75 よりAとBの差を求める。



和と差が分かる



求めるのはCの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとB 合わせて 82 (和) AとB ちがいは 34 (差)

Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B) Bに差を足す。(A)

$$B + C = 41 \text{ なので } 41 - B = C$$

$$A + C = 75 \text{ なので } 75 - A = C$$

【式】  $75 - 41 = 34$  (AとBの差)

$$(82 - 34) \div 2 = 24$$
 (B)

$$24 + 34 = 58$$
 (A)

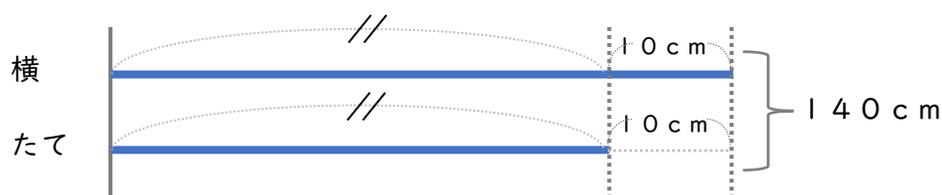
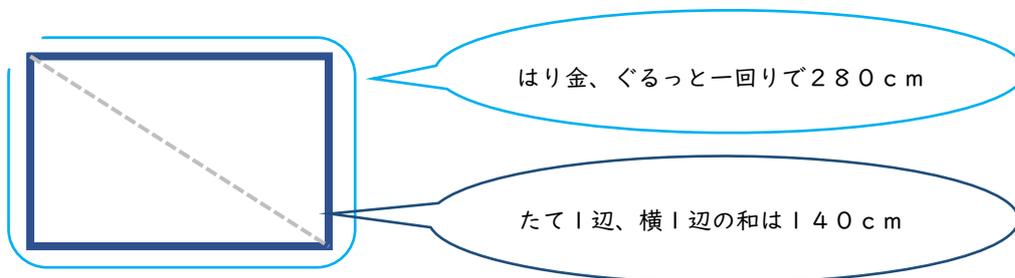
$$41 - 24 = 17$$
 (C)

$$75 - 58 = 17$$
 (C)

【答え】           C 17

③ (長方形の問題)

長さが280cmあるはり金を折り曲げて、横の長さがたての長さより10cm長い長方形をつくりました。この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 140cm (和)      ちがいは 10cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ①横から差を引いて、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて)    たてに差を足す。(横)
- (①)たてに差を足して、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横)    横から差を引く。(たて)

【式】 ①  $280 \div 2 = 140$   
 $(140 - 10) \div 2 = 65$  (たて)  
 $65 + 10 = 75$  (横)  
 $65 \times 75 = 4875$

(①)  $280 \div 2 = 140$   
 $(140 + 10) \div 2 = 75$  (横)  
 $75 - 10 = 65$  (たて)  
 $75 \times 65 = 4875$

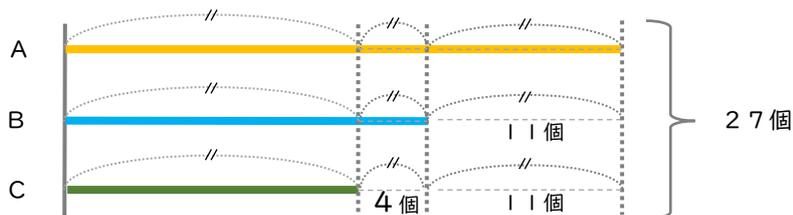
【答え】 4875cm<sup>2</sup>

④ (割り切れる場合を考える問題)

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、27個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは11個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき (Bが2番目に多いとき)〉



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 27 (和)

AとB ちがいは 11 (差) BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは 11 + 4 + 11 = 26 (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$$\underline{(27 + 26) \div 3 = 17 \dots 2 \text{ (A)}}$$

ケース1は割り切れないので違う。

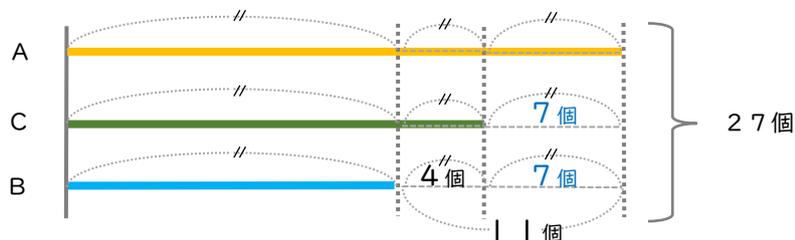
【式】

$$11 + 4 + 11 = 26$$

$$(27 + 26) \div 3 = 17 \dots 2 \text{ (A) 割り切れない}$$

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、27個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは11個、BくとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 27 (和)

AとB ちがいは 11 (差) BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは 11 + (11 - 4) = 18 (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(27 + 18) \div 3 = 15$  (A)

【式】

$11 + (11 - 4) = 18$

$(27 + 18) \div 3 = 15$  (A)

【答え】 Aくん 15個

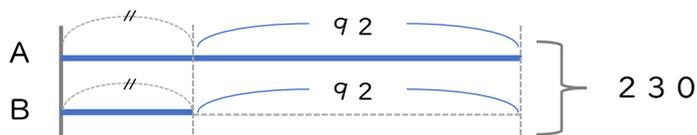
⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を2倍しても、その差を5倍しても460になります。それぞれいくつでしょうか。

$$\begin{array}{ll} (A+B) \times 2 = 460 & (A-B) \times 5 = 460 \\ A+B = 460 \div 2 = 230 & A-B = 460 \div 5 = 92 \end{array}$$

合わせて 230 (和)      ちがいは 92 (差)  
 求めるのは、それぞれの数

- ① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B)    Bに差を足してA。  
 (①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A)    Aから差を引いてB



【式】 ①  $460 \div 2 = 230$   
 $460 \div 5 = 92$   
 $(230 - 92) \div 2 = 69$  (B)  
 $69 + 92 = 161$  (A)

【式】 (①)  $460 \div 2 = 230$   
 $460 \div 5 = 92$   
 $(230 + 92) \div 2 = 161$  (A)  
 $161 - 92 = 69$  (B)

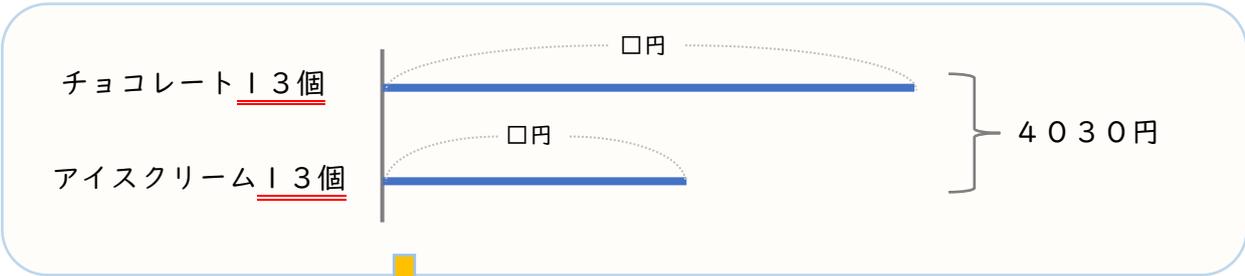
【答え】         A 161        B 69

**さくさく和差算・下** **第6回の解答**

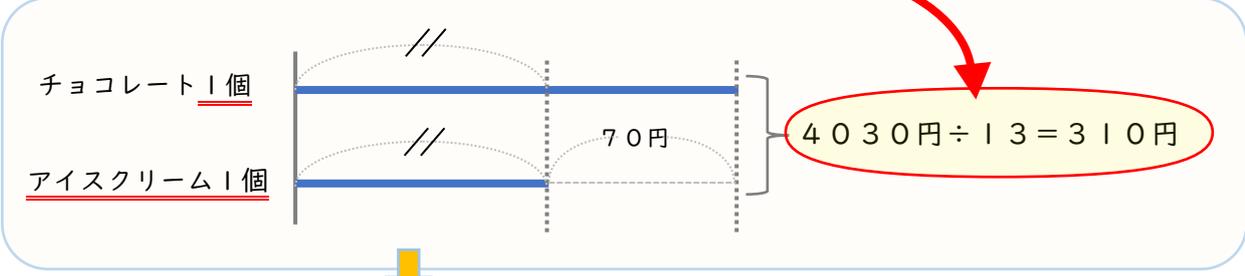
① (それぞれ1個の値を求める問題)

チョコレートとアイスクリームを13個ずつ買うと4030円でした。チョコレートの代金がアイスクリームの代金より70円高いとき、1個の代金はそれぞれいくらでしょうか。

チョコレートと、アイスクリームそれぞれ13個ずつのとき、和は4030円



チョコレートとアイスクリーム、それぞれ1個ずつのとき、差は70円。



合わせて 310円 (和)    ちがいは 70円 (差)  
 求めるのは、それぞれ1個の代金 (値段)。  
 ① チョコレートから差を引いて、アイスクリームと同じ値にする。それを2で割る。(アイスクリーム)  
 アイスクリームに差を足す。(チョコレート)  
 (①) アイスクリームに差を足して、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。(チョコレート)  
 チョコレートから差を引く。(アイスクリーム)

<p>【式】 ① <math>4030 \div 13 = 310</math> (各1個の和)  <math>(310 - 70) \div 2 = 120</math> (アイスクリーム)  <math>120 + 70 = 190</math> (チョコレート)</p>	<p>(①) <math>4030 \div 13 = 310</math> (各1個の和)  <math>(310 + 70) \div 2 = 190</math> (チョコレート)  <math>190 - 70 = 120</math> (アイスクリーム)</p>
--	--

【答え】 チョコレート 190円    アイスクリーム 120円

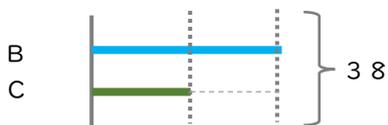
② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が82、BとCの和が38、AとCの和が70のとき、Cはいくつになりますか。

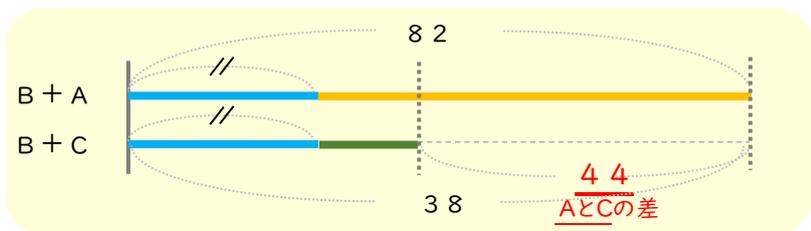
AとBの和が82  
 BとCの和が38  
 AとCの和が70

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が82 と BとCの和が38 よりAとCの差を求める。



和と差が分かる



求めるのはCの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・AとC 合わせて 70 (和) AとC ちがいは 44 (差)  
 Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

【式】  $82 - 38 = 44$  (AとCの差)  
 $(70 - 44) \div 2 = 13$  (C)

【答え】           C 13

※その他の方法

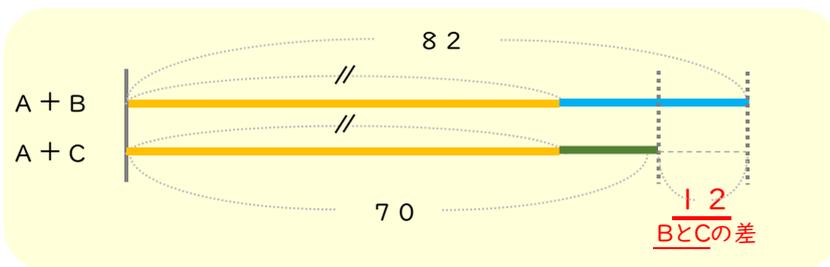
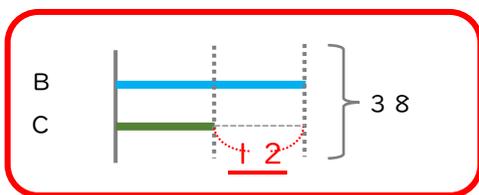
AとBの和が82

BとCの和が38

AとCの和が70

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が82 と AとCの和が70 よりBとCの差を求める。



求めるのはCの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・BとC 合わせて 38 (和) BとC ちがいは 12 (差)

Bから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

【式】  $82 - 70 = 12$  (BとCの差)

$(38 - 12) \div 2 = 13$  (C)

【答え】           C 13

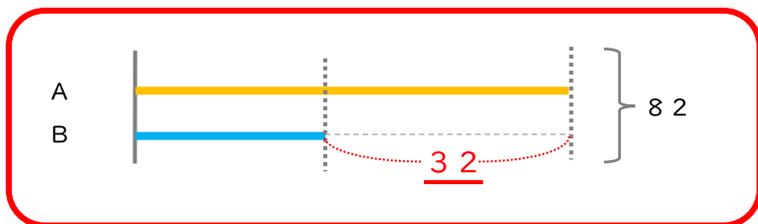
AとBの和が82

BとCの和が38

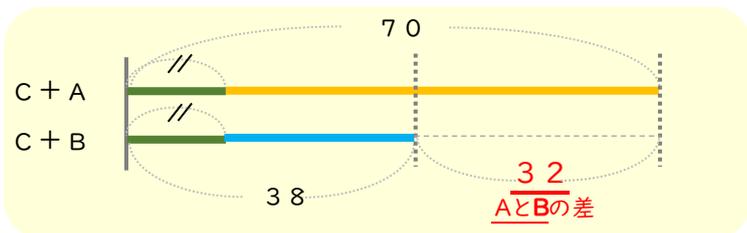
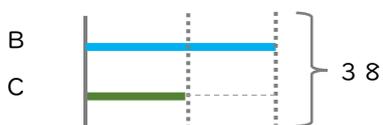
AとCの和が70

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ BとCの和が38 と AとCの和が70 よりAとBの差を求める。



和と差が分かる



求めるのはCの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・AとB 合わせて 82 (和) AとB ちがいは 32 (差)

Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B) Bに差を足す。(A)

$$B + C = 38 \text{ なので } 38 - B = C$$

$$A + C = 70 \text{ なので } 70 - A = C$$

【式】  $70 - 38 = 32$  (AとBの差)

$$(82 - 32) \div 2 = 25$$
 (B)

$$25 + 32 = 57$$
 (A)

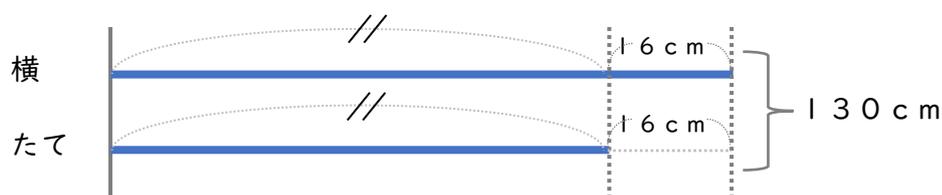
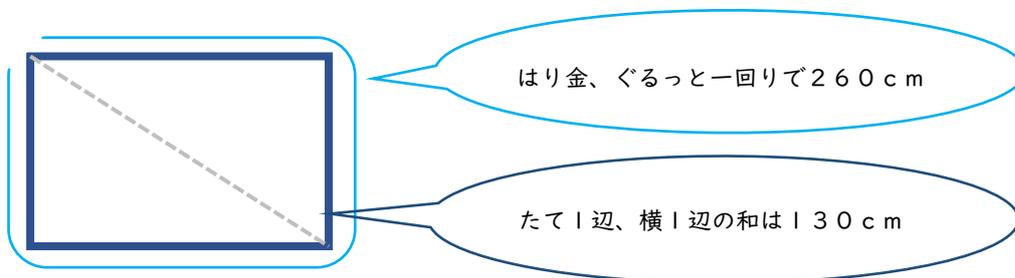
$$38 - 25 = 13$$
 (C)

$$70 - 57 = 13$$
 (C)

【答え】           C | 3

③ (長方形の問題)

長さが260cmあるはり金を折り曲げて長方形を作ります。横の長さをたての長さより16cm長くするとき、この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 130cm (和)      ちがいは 16cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ①横から差を引いて、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて)    たてに差を足す。(横)
- (①)たてに差を足して、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横)    横から差を引く。(たて)

【式】 ①  $260 \div 2 = 130$   
 $(130 - 16) \div 2 = 57$  (たて)  
 $57 + 16 = 73$  (横)  
 $57 \times 73 = 4161$

(①)  $260 \div 2 = 130$   
 $(130 + 16) \div 2 = 73$  (横)  
 $73 - 16 = 57$  (たて)  
 $73 \times 57 = 4161$

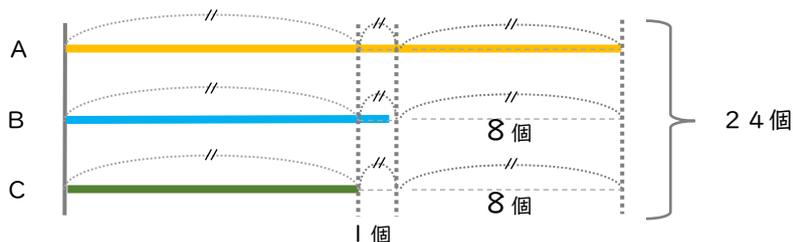
【答え】 4161cm<sup>2</sup>

④ (割り切れる場合を考える問題)

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、24個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは8個、BくんとCくんの個数のちがいは1個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

<ケース1・・・BくんがCくんより多いとき (Bが2番目に多いとき)>



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 24 (和)

AとB ちがいは 8 (差) BとC ちがいは 1 (差)

AとB+C ちがいは  $8 + 1 + 8 = 17$  (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(24 + 17) \div 3 = 13 \cdots 2$  (A)

ケース1は割り切れないので違う。

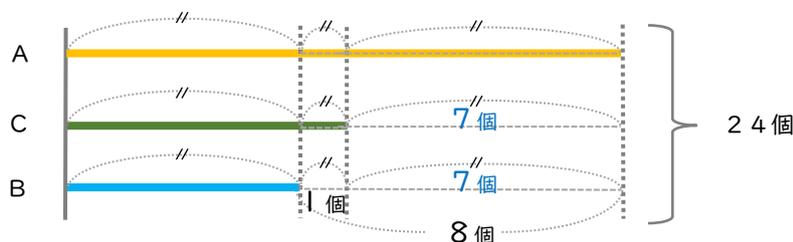
【式】

$8 + 1 + 8 = 17$

$(24 + 17) \div 3 = 13 \cdots 2$  (A) 割り切れない

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、24個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは8個、BくとCくんの個数のちがいは1個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 24 (和)

AとB ちがいは 8 (差)    BとC ちがいは 1 (差)

AとB+C ちがいは  $8 + (8 - 1) = 15$  (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(24 + 15) \div 3 = 13$  (A)

【式】

$8 + (8 - 1) = 15$

$(24 + 15) \div 3 = 13$  (A)

【答え】 Aくん 13個

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を3倍しても、その差を8倍しても2160になります。それぞれいくつでしょうか。

$$(A + B) \times 3 = 2160$$

$$(A - B) \times 8 = 2160$$

$$A + B = 2160 \div 3 = 720$$

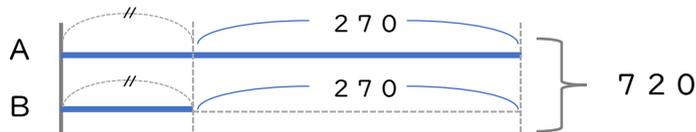
$$A - B = 2160 \div 8 = 270$$

合わせて 720 (和)      ちがいは 270 (差)

求めるのは、それぞれの数

① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B)      Bに差を足してA。

② Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A)      Aから差を引いてB



【式】 ①  $2160 \div 3 = 720$

$$2160 \div 8 = 270$$

$$(720 - 270) \div 2 = 225 \text{ (B)}$$

$$225 + 270 = 495 \text{ (A)}$$

【式】 ②  $2160 \div 3 = 720$

$$2160 \div 8 = 270$$

$$(720 + 270) \div 2 = 495 \text{ (A)}$$

$$495 - 270 = 225 \text{ (B)}$$

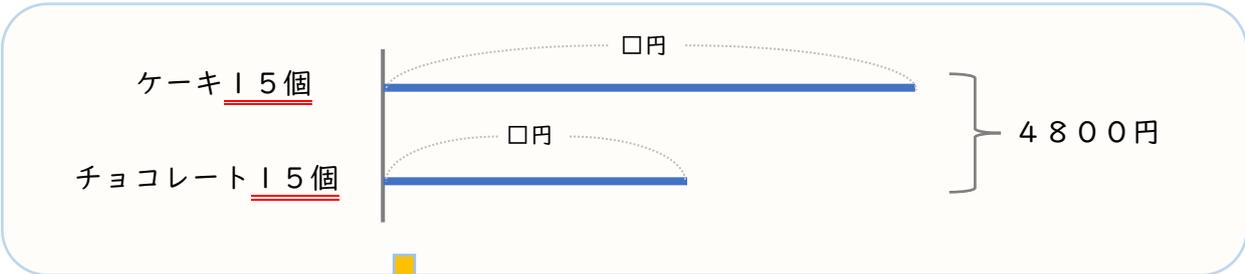
【答え】 A 495      B 225

**さくさく和差算・下** **第7回の解答**

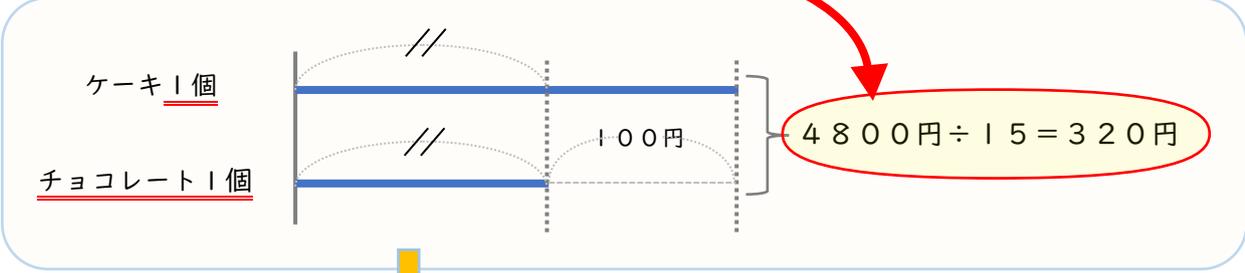
① (それぞれ1個の値を求める問題)

チョコレートとケーキを15個ずつ買うと4800円でした。チョコレートの代金はケーキの代金より100円安いそうです。1個の代金はそれぞれいくらでしょう。

チョコレートと、ケーキそれぞれ15個ずつのとき、和は4800円



チョコレートとケーキ、それぞれ1個ずつのとき、差は100円。



合わせて 320円 (和)    ちがいは 100円 (差)  
 求めるのは、それぞれ1個の代金 (値段)。  
 ① ケーキから差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。(チョコレート)  
     チョコレートに差を足す。(ケーキ)  
 (①) チョコレートに差を足して、ケーキと同じ値にする。それを2で割る。(ケーキ)  
     ケーキから差を引く。(チョコレート)

<p>【式】 ① <math>4800 \div 15 = 320</math> (各1個の和)</p> <p>        <math>(320 - 100) \div 2 = 110</math> (チョコレート)</p> <p>        <math>110 + 100 = 210</math> (ケーキ)</p>	<p>(①) <math>4800 \div 15 = 320</math> (各1個の和)</p> <p>      <math>(320 + 100) \div 2 = 210</math> (ケーキ)</p> <p>      <math>210 - 100 = 110</math> (チョコレート)</p>
--	--

【答え】 チョコレート 110円    ケーキ 230円

② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が125、BとCの和が106、AとCの和が119のとき、Cはいくつになりますか。

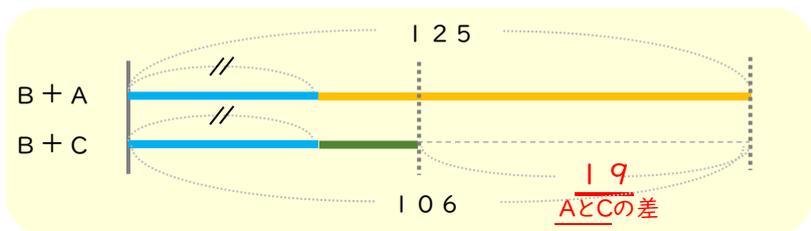
AとBの和が 125  
 BとCの和が 106  
 AとCの和が 119

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が 125 と BとCの和が 106 よりAとCの差を求める。



和と差が分かる



求めるのは Cの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・ AとC 合わせて 119 (和) AとC ちがいは 19 (差)  
 Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

【式】  $125 - 106 = 19$  (AとCの差)  
 $(119 - 19) \div 2 = 50$  (C)

【答え】           C 50

※その他の方法

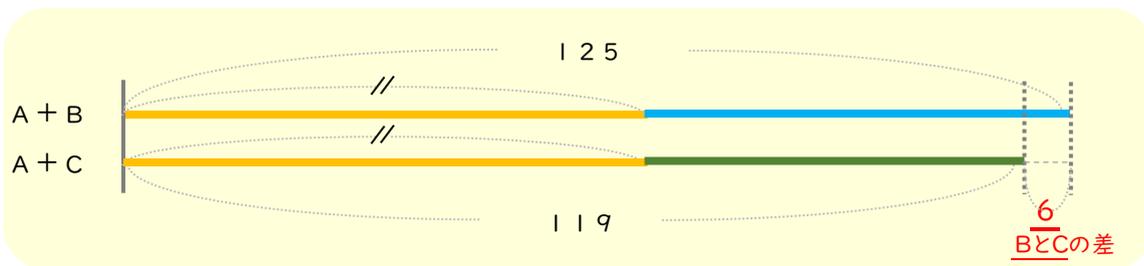
AとBの和が 125  
 BとCの和が 106  
 AとCの和が 119

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が 125 と AとCの和が 119 よりBとCの差を求める。



和と差が分かる

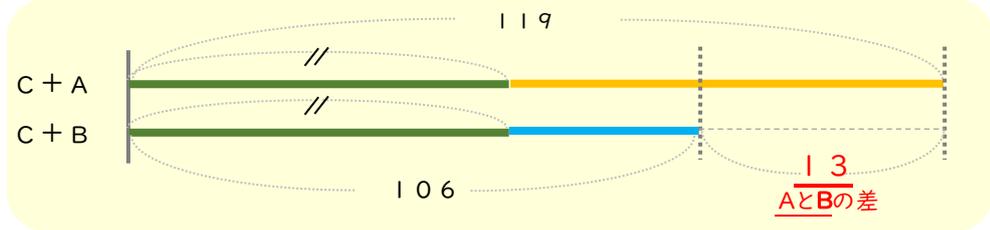
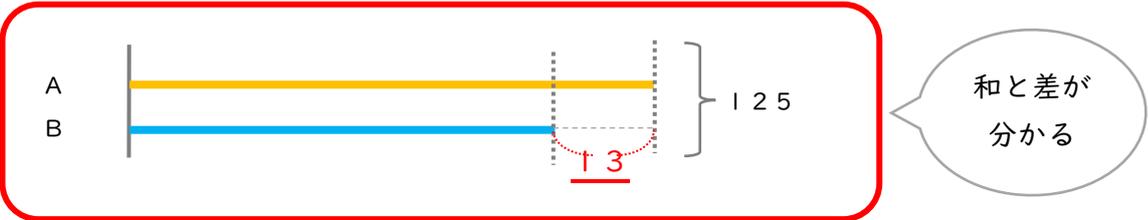


求めるのはCの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・BとC 合わせて 106 (和) BとC ちがいは 6 (差)  
 Bから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

【式】  $125 - 119 = 6$  (BとCの差)  
 $(106 - 6) \div 2 = 50$  (C)

【答え】           C 50

AとBの和が 125  
 BとCの和が 106  
 AとCの和が 119 } 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 ☆ BとCの和が 106 と AとCの和が 119 よりAとBの差を求める。



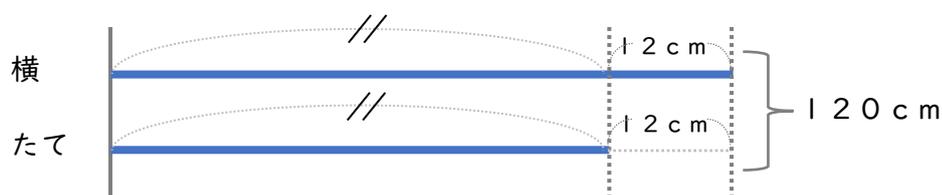
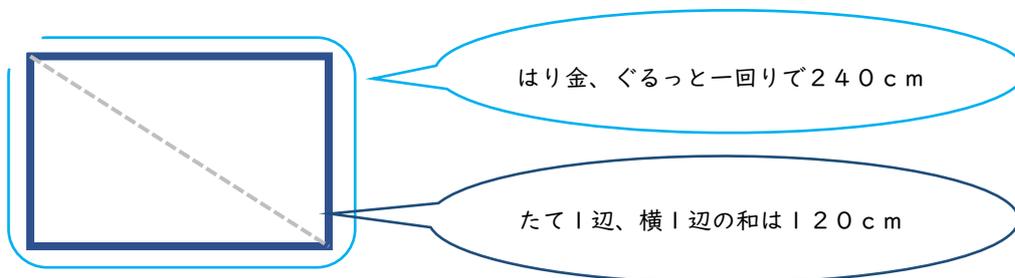
求めるのは Cの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・ AとB 合わせて 125 (和) AとB ちがいは 13 (差)  
 Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B) Bに差を足す。(A)  
 $B + C = 106$  なので  $106 - B = C$   
 $A + C = 119$  なので  $119 - A = C$

【式】  $119 - 106 = 13$  (AとBの差)  
 $(125 - 13) \div 2 = 56$  (B)  
 $56 + 13 = 69$  (A)  
 $106 - 56 = 50$  (C)  
 $119 - 69 = 50$  (C)

【答え】           C 50

③（長方形の問題）

長さが240cmあるはり金を折り曲げて長方形を作ります。横の長さをたての長さより12cm長くするとき、この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 120cm (和)      ちがいは 12cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ①横から差を引いて、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて)    たてに差を足す。(横)
- (①)たてに差を足して、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横)    横から差を引く。(たて)

【式】 ①  $240 \div 2 = 120$   
 $(120 - 12) \div 2 = 54$  (たて)  
 $54 + 12 = 66$  (横)  
 $54 \times 66 = 3564$

(①)  $240 \div 2 = 120$   
 $(120 + 12) \div 2 = 66$  (横)  
 $66 - 12 = 54$  (たて)  
 $66 \times 54 = 3564$

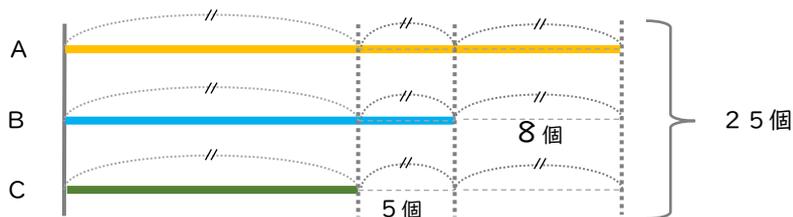
【答え】 3564cm<sup>2</sup>

④ (割り切れる場合を考える問題)

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、25個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは8個、BくんとCくんの個数のちがいは5個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

<ケース1・・・BくんがCくんより多いとき (Bが2番目に多いとき)>



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 25 (和)

AとB ちがいは 8 (差) BとC ちがいは 5 (差)

AとB+C ちがいは  $8 + 5 + 8 = 21$  (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(25 + 21) \div 3 = 15 \dots 1$  (A)

ケース1は割り切れないので違う。

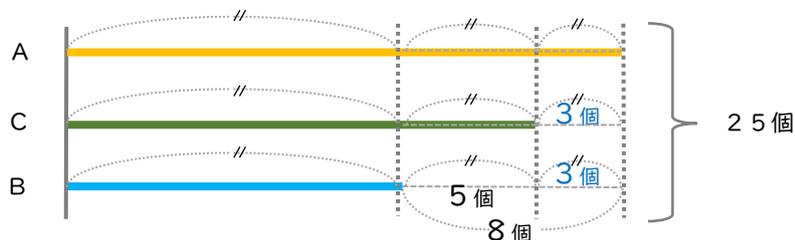
【式】

$8 + 5 + 8 = 21$

$(25 + 21) \div 3 = 15 \dots 1$  (A) 割り切れない

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、25個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは8個、BくとCくんの個数のちがいは5個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 25 (和)

AとB ちがいは 8 (差)    BとC ちがいは 5 (差)

AとB+C ちがいは 8 + (8 - 5) = 11 (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(25 + 11) \div 3 = 12$  (A)

【式】

$8 + (8 - 5) = 11$

$(25 + 11) \div 3 = 12$  (A)

【答え】 Aくん 12個

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を2倍しても、その差を5倍しても1280になります。それぞれいくつでしょう。

$$(A + B) \times 2 = 1280$$

$$(A - B) \times 5 = 1280$$

$$A + B = 1280 \div 2 = 640$$

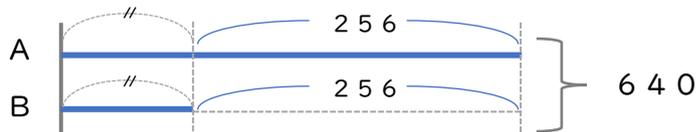
$$A - B = 1280 \div 5 = 256$$

合わせて 640 (和)      ちがいは 256 (差)

求めるのは、それぞれの数

① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B)      Bに差を足してA。

② Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A)      Aから差を引いてB



【式】 ①  $1280 \div 2 = 640$

$$1280 \div 5 = 256$$

$$(640 - 256) \div 2 = 192 \text{ (B)}$$

$$192 + 256 = 448 \text{ (A)}$$

【式】 ②  $1280 \div 2 = 640$

$$1280 \div 5 = 256$$

$$(640 + 256) \div 2 = 448 \text{ (A)}$$

$$448 - 256 = 192 \text{ (B)}$$

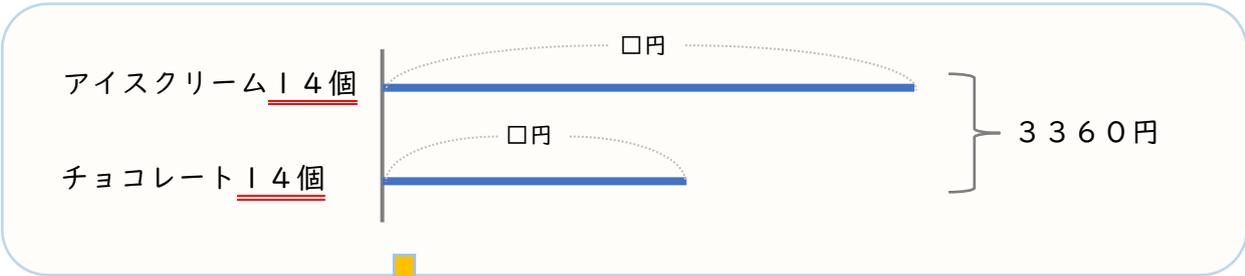
【答え】 A 448      B 192

**さくさく和差算・下** **第8回の解答**

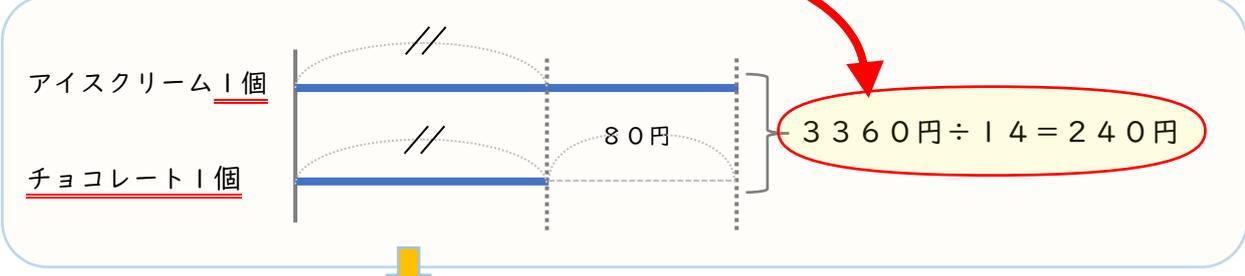
① (それぞれ1個の値を求める問題)

チョコレートとアイスクリームを14個ずつ買うと3360円でした。チョコレートの代金がアイスクリームの代金より80円安いとき、1個の代金はそれぞれいくらでしょうか。

チョコレートと、アイスクリームそれぞれ14個ずつのとき、和は3360円



チョコレートとアイスクリーム、それぞれ1個ずつのとき、差は80円。



合わせて 240円 (和) ちがいは 80円 (差)

求めるのは、それぞれ1個の代金 (値段)。

① アイスクリームから差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。(チョコレート)  
 チョコレートに差を足す。(アイスクリーム)

(①) チョコレートに差を足して、アイスクリームと同じ値にする。それを2で割る。(アイスクリーム)  
 アイスクリームから差を引く。(チョコレート)

<p>【式】 ① <math>3360 \div 14 = 240</math> (各1個の和)</p> <p style="margin-left: 20px;"><math>(240 - 80) \div 2 = 80</math> (チョコレート)</p> <p style="margin-left: 20px;"><math>80 + 80 = 160</math> (アイスクリーム)</p>	<p>(①) <math>3360 \div 14 = 240</math> (各1個の和)</p> <p style="margin-left: 20px;"><math>(240 + 80) \div 2 = 160</math> (アイスクリーム)</p> <p style="margin-left: 20px;"><math>160 - 80 = 80</math> (チョコレート)</p>
--	---

【答え】 チョコレート 80円    アイスクリーム 160円

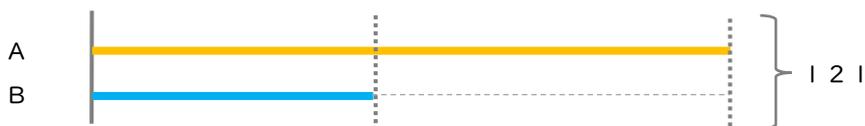
② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が121、BとCの和が49、AとCの和が96のとき、Cはいくつになりますか。

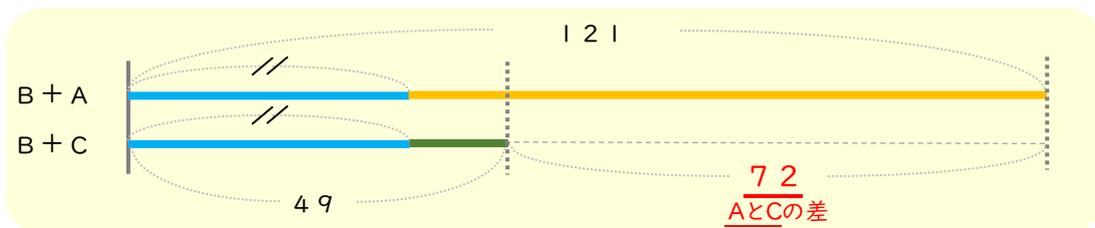
AとBの和が 121  
 BとCの和が 49  
 AとCの和が 96

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が 121 と BとCの和が 49 よりAとCの差を求める。



和と差が  
分かる



求めるのは Cの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・ AとC 合わせて 96 (和) AとC ちがいは 72 (差)

Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

【式】  $121 - 49 = 72$  (AとCの差)  
 $(96 - 72) \div 2 = 12$  (C)

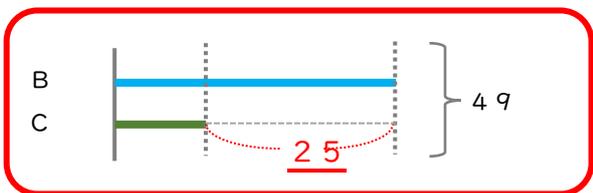
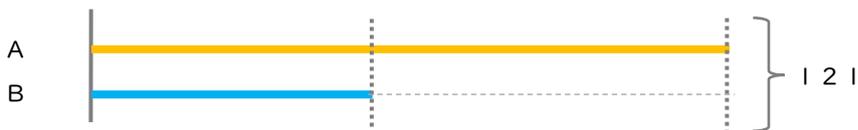
【答え】           C 12

※その他の方法

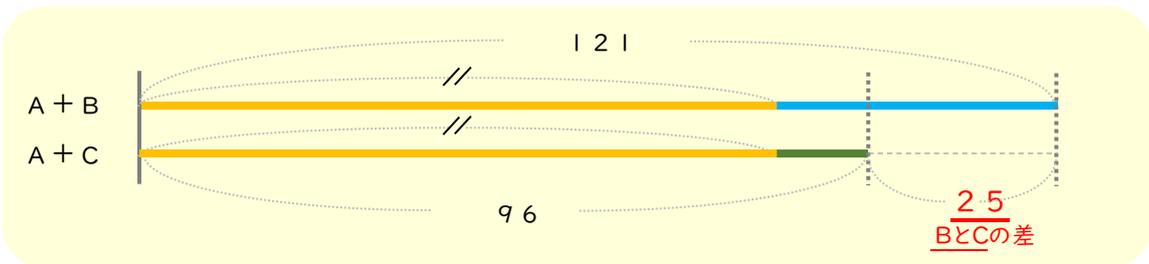
AとBの和が 121  
 BとCの和が 49  
 AとCの和が 96

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が 121 と AとCの和が 96 よりBとCの差を求める。



和と差が分かる



求めるのはCの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・BとC 合わせて 49 (和) BとC ちがいは 25 (差)  
 Bから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

【式】  $121 - 96 = 25$  (BとCの差)  
 $(49 - 25) \div 2 = 12$  (C)

【答え】           C 12

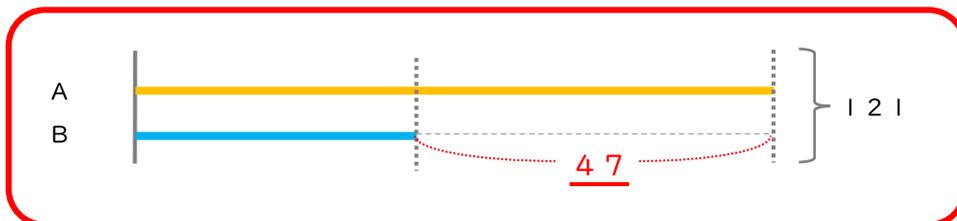
AとBの和が 121

BとCの和が 49

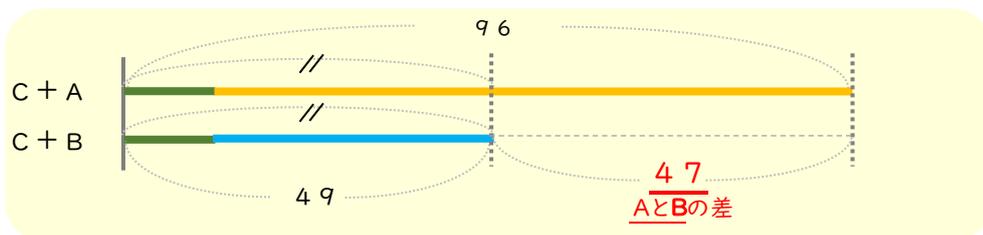
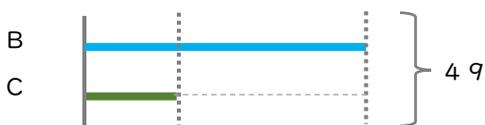
AとCの和が 96

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ BとCの和が 49 と AとCの和が 96 よりAとBの差を求める。



和と差が分かる



求めるのは Cの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・ AとB 合わせて 121 (和) AとB ちがいは 47 (差)

Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B) Bに差を足す。(A)

$$B + C = 49 \text{ なので } 49 - B = C$$

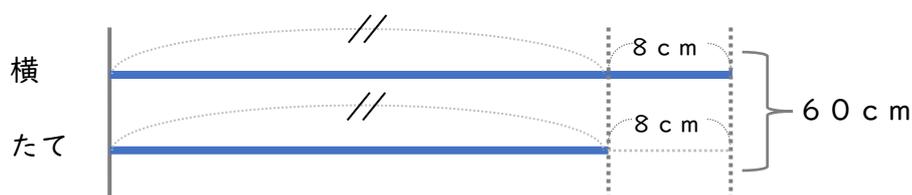
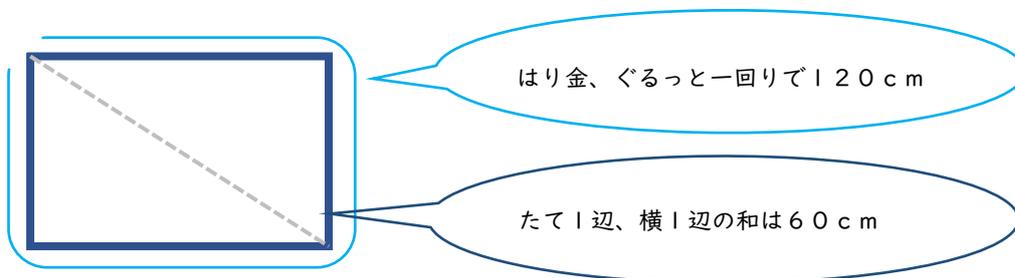
$$A + C = 96 \text{ なので } 96 - A = C$$

- 【式】  $96 - 49 = 47$  (AとBの差)  
 $(121 - 47) \div 2 = 37$  (B)  
 $37 + 47 = 84$  (A)  
 $49 - 37 = 12$  (C)  
 $96 - 84 = 12$  (C)

【答え】           C 12

③（長方形の問題）

長さが120cmあるはり金を折り曲げて長方形を作ります。横の長さをたての長さより8cm長くするとき、この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 60cm (和)      ちがいは 8cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ①横から差を引いて、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて)    たてに差を足す。(横)
- (①)たてに差を足して、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横)    横から差を引く。(たて)

【式】 ①  $120 \div 2 = 60$   
 $(60 - 8) \div 2 = 26$  (たて)  
 $26 + 8 = 34$  (横)  
 $26 \times 34 = 884$

(①)  $120 \div 2 = 60$   
 $(60 + 8) \div 2 = 34$  (横)  
 $34 - 8 = 26$  (たて)  
 $34 \times 26 = 884$

【答え】 884cm<sup>2</sup>

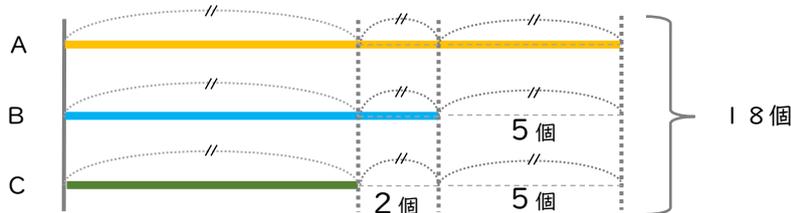
④ (割り切れる場合を考える問題)

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、18個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは5個、BくんとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき (Bが2番目に多いとき)〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、18個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは5個、BくんとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 23 (和)

AとB ちがいは 5 (差) BとC ちがいは 2 (差)

AとB+C ちがいは 5+2+5=12 (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(18 + 12) \div 3 = 10$  (A)

【式】

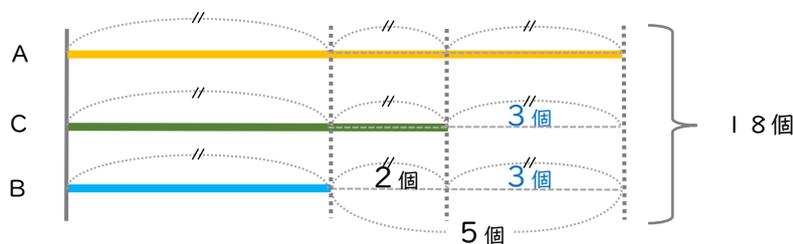
$5 + 2 + 5 = 12$

$(18 + 12) \div 3 = 10$  (A)

【答え】 Aくん 10個

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、18個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは5個、BくとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 18 (和)

AとB ちがいは 5 (差) BとC ちがいは 2 (差)

AとB+C ちがいは  $5 + (5 - 2) = 8$  (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(18 + 8) \div 3 = 8 \dots 2$  (A) 割り切れない

ケース2は割り切れないので違う

【式】

$$5 + (5 - 2) = 8$$

$$(18 + 8) \div 3 = 8 \dots 2 \text{ (A) 割り切れないので違う}$$

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を4倍しても、その差を7倍しても1680になります。それぞれいくつでしょうか。

$$(A + B) \times 4 = 1680$$

$$(A - B) \times 7 = 1680$$

$$A + B = 1680 \div 4 = 420$$

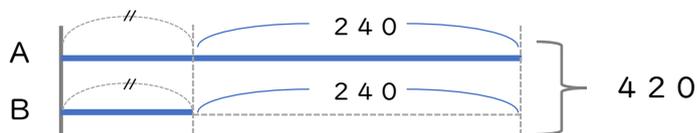
$$A - B = 1680 \div 7 = 240$$

合わせて 420 (和)      ちがいは 240 (差)

求めるのは、それぞれの数

① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B)      Bに差を足してA。

② Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A)      Aから差を引いてB



【式】 ①  $1680 \div 4 = 420$

$$1680 \div 7 = 240$$

$$(420 - 240) \div 2 = 90 \text{ (B)}$$

$$90 + 240 = 330 \text{ (A)}$$

【式】 ②  $1680 \div 4 = 420$

$$1680 \div 7 = 240$$

$$(420 + 240) \div 2 = 330 \text{ (A)}$$

$$330 - 240 = 90 \text{ (B)}$$

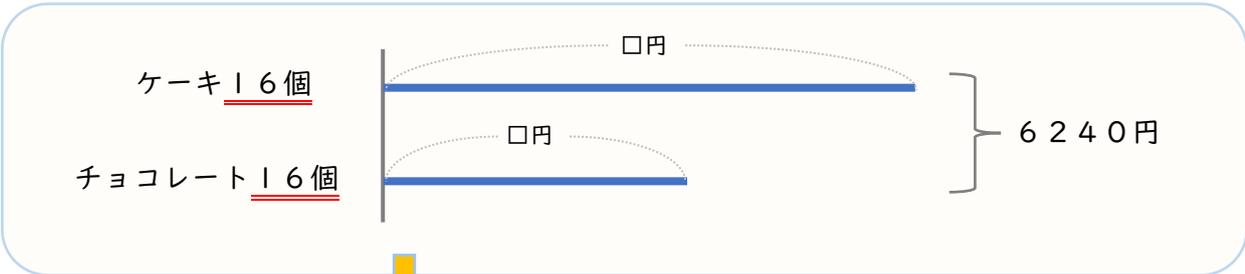
【答え】 A 330      B 90

**さくさく和差算・下** **第9回の解答**

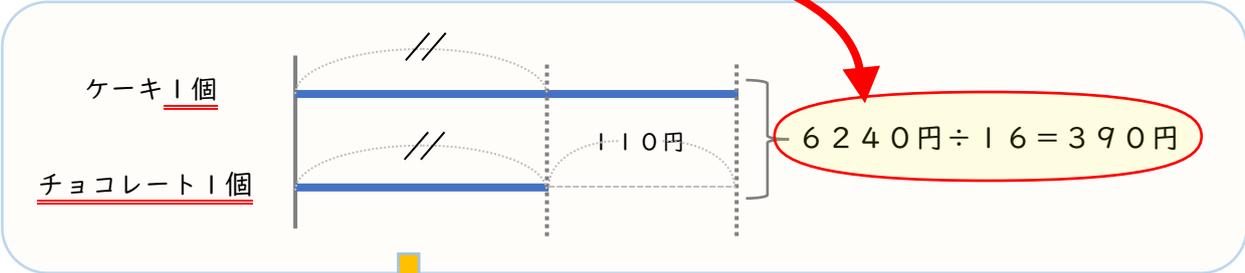
① (それぞれ1個の値を求める問題)

チョコレートとケーキを16個ずつ買うと6240円でした。ケーキの代金はチョコレートの代金より110円高いそうです。1個の代金はそれぞれいくらでしょう。

チョコレートと、ケーキそれぞれ16個ずつのとき、和は6240円



チョコレートとケーキ、それぞれ1個ずつのとき、差は110円。



合わせて 390円 (和)    ちがいは 110円 (差)  
 求めるのは、それぞれ1個の代金 (値段)。  
 ① ケーキから差を引いて、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。(チョコレート)  
     チョコレートに差を足す。(ケーキ)  
 (①) チョコレートに差を足して、ケーキと同じ値にする。それを2で割る。(ケーキ)  
     ケーキから差を引く。(チョコレート)

<p>【式】 ① <math>6240 \div 16 = 390</math> (各1個の和)  <math>(390 - 110) \div 2 = 140</math> (チョコレート)  <math>140 + 110 = 250</math> (ケーキ)</p>	<p>(①) <math>6240 \div 16 = 390</math> (各1個の和)  <math>(390 + 110) \div 2 = 250</math> (ケーキ)  <math>250 - 110 = 140</math> (チョコレート)</p>
--	--

**【答え】** チョコレート 140円    ケーキ 250円

② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が165、BとCの和が115、AとCの和が146のとき、Cはいくつになりますか。

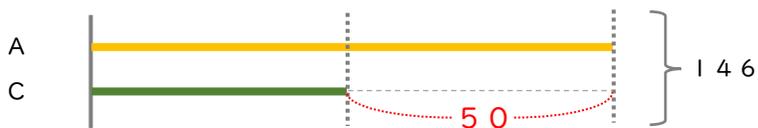
AとBの和が 165

BとCの和が 115

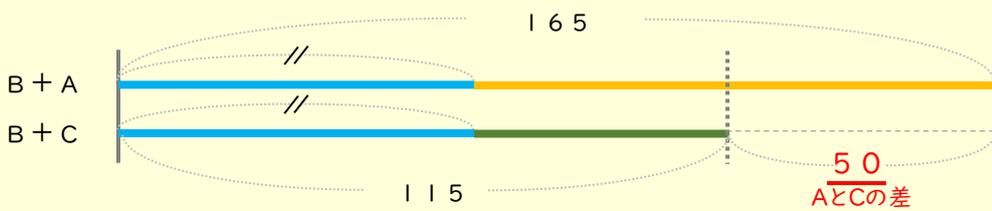
AとCの和が 146

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が 165 と BとCの和が 115 よりAとCの差を求める。



和と差が分かる



求めるのは Cの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・ AとC 合わせて 146 (和) AとC ちがいは 50 (差)

Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

【式】  $165 - 115 = 50$  (AとCの差)

$(146 - 50) \div 2 = 48$  (C)

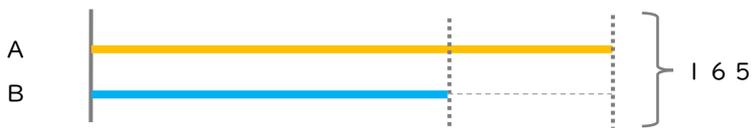
【答え】           C 48

※その他の方法

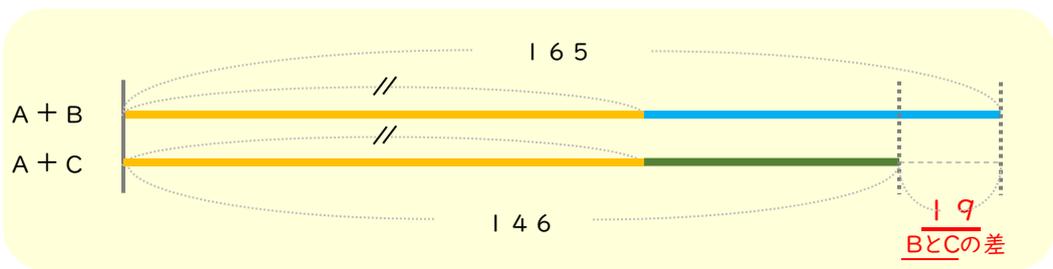
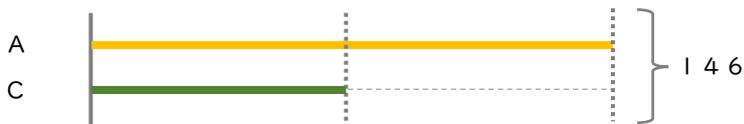
AとBの和が 165  
 BとCの和が 115  
 AとCの和が 146

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が 165 と AとCの和が 146 よりBとCの差を求める。



和と差が分かる

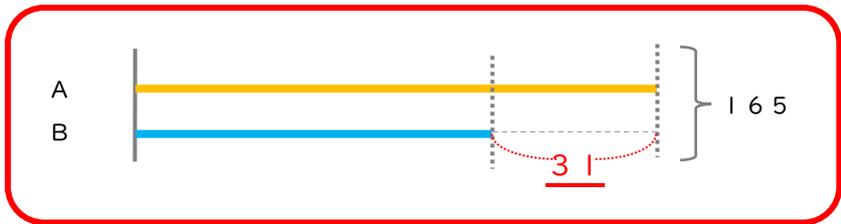


求めるのはCの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・BとC 合わせて 115 (和) BとC ちがいは 19 (差)  
 Bから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

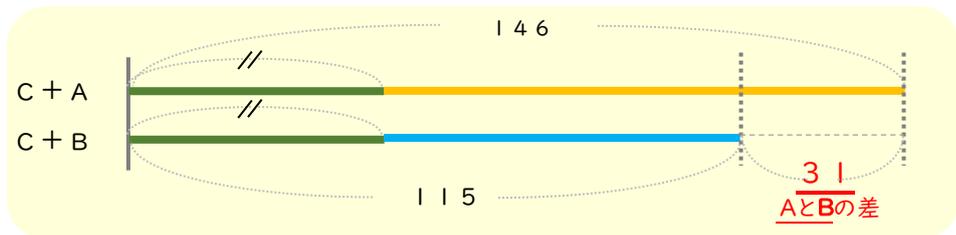
【式】  $165 - 146 = 19$  (BとCの差)  
 $(115 - 19) \div 2 = 48$  (C)

【答え】           C 48

AとBの和が 165  
 BとCの和が 115  
 AとCの和が 146 } 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 ☆ BとCの和が 115 と AとCの和が 146 よりAとBの差を求める。



和と差が分かる



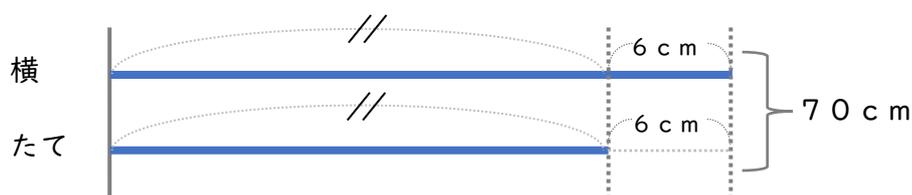
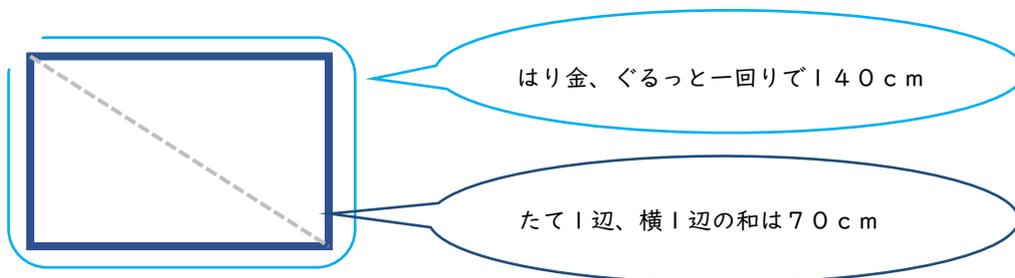
求めるのは Cの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・ AとB 合わせて 165 (和) AとB ちがいは 31 (差)  
 Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B) Bに差を足す。(A)  
 $B + C = 115$  なので  $115 - B = C$   
 $A + C = 146$  なので  $146 - A = C$

【式】  $146 - 115 = 31$  (AとBの差)  
 $(165 - 31) \div 2 = 67$  (B)  
 $67 + 31 = 98$  (A)  
 $115 - 67 = 48$  (C)  
 $146 - 98 = 48$  (C)

【答え】           C 48

③（長方形の問題）

長さが140cmあるはり金を折り曲げて長方形を作ります。横の長さをたての長さより6cm長くするとき、この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 70cm (和)      ちがいは 6cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ①横から差を引いて、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて) たてに差を足す。(横)
- (①)たてに差を足して、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横) 横から差を引く。(たて)

【式】 ①  $140 \div 2 = 70$   
 $(70 - 6) \div 2 = 32$  (たて)  
 $32 + 6 = 38$  (横)  
 $32 \times 38 = 1216$

(①)  $140 \div 2 = 70$   
 $(70 + 6) \div 2 = 38$  (横)  
 $38 - 6 = 32$  (たて)  
 $38 \times 32 = 1216$

【答え】 1216cm<sup>2</sup>

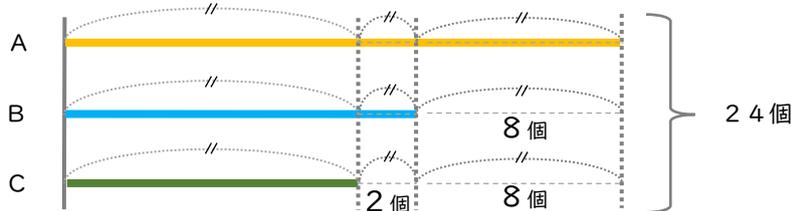
④ (割り切れる場合を考える問題)

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、24個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは8個、BくんとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

〈ケース1・・・BくんがCくんより多いとき (Bが2番目に多いとき)〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、18個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは5個、BくんとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。  
線分図より・・・

A、B、C 合わせて 24 (和)  
AとB ちがいは 8 (差) BとC ちがいは 2 (差)  
AとB+C ちがいは 8+2+8=18 (差)

B、Cに差を足して **Aと同じ個数にする**。それを3で割る。(A)  
 $(24 + 18) \div 3 = 14$  (A)

【式】

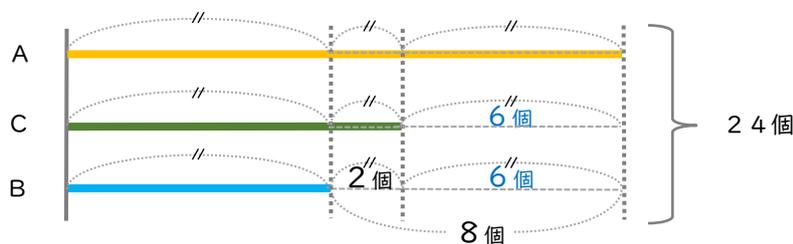
$8 + 2 + 8 = 18$

$(24 + 18) \div 3 = 14$  (A)

【答え】 Aくん 14個

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、24個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは8個、BくとCくんの個数のちがいは2個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 24 (和)

AとB ちがいは 8 (差) BとC ちがいは 2 (差)

AとB+C ちがいは  $8 + (8 - 2) = 14$  (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(24 + 14) \div 3 = 12 \dots 2$  (A) 割り切れない

ケース2は割り切れないので違う

【式】

$$8 + (8 - 2) = 14$$

$$(24 + 14) \div 3 = 12 \dots 2 \text{ (A) 割り切れないので違う}$$

⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を3倍しても、その差を5倍しても1440になります。それぞれいくつでしょう。

$$(A + B) \times 3 = 1440$$

$$(A - B) \times 5 = 1440$$

$$A + B = 1440 \div 3 = 480$$

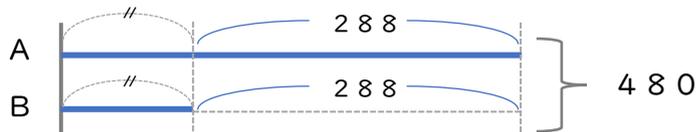
$$A - B = 1440 \div 5 = 288$$

合わせて 480 (和)      ちがいは 288 (差)

求めるのは、それぞれの数

① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B)      Bに差を足してA。

(①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A)      Aから差を引いてB



【式】 ①  $1440 \div 3 = 480$

$$1440 \div 5 = 288$$

$$(480 - 288) \div 2 = 96 \text{ (B)}$$

$$96 + 288 = 384 \text{ (A)}$$

【式】 (①)  $1440 \div 3 = 480$

$$1440 \div 5 = 288$$

$$(480 + 288) \div 2 = 384 \text{ (A)}$$

$$384 - 288 = 96 \text{ (B)}$$

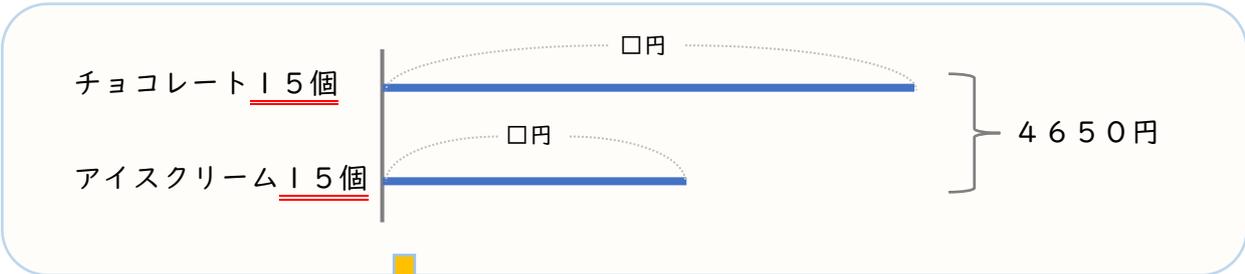
【答え】 A 384      B 96

**さくさく和差算・下** **第10回の解答**

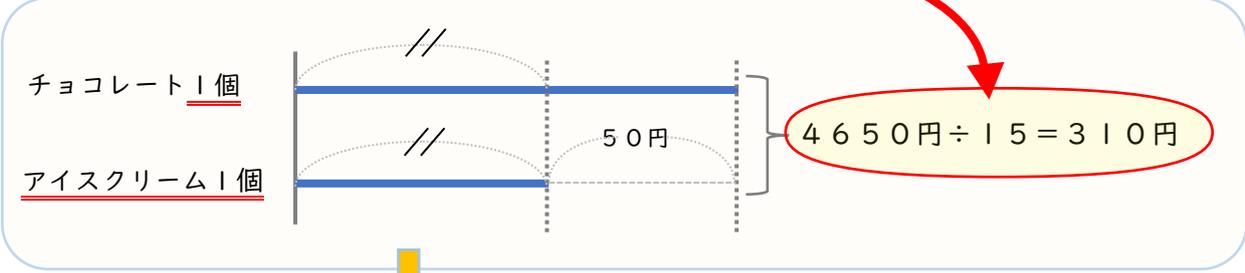
① (それぞれ1個の値を求める問題)

チョコレートとアイスクリームを15個ずつ買うと4650円でした。チョコレートの代金がアイスクリームの代金より50円高いとき、1この代金はそれぞれいくらでしょうか。

チョコレートと、アイスクリームそれぞれ15個ずつのとき、和は4650円



チョコレートとアイスクリーム、それぞれ1個ずつのとき、差は50円。



合わせて 310円 (和)    ちがいは 50円 (差)  
 求めるのは、それぞれ1個の代金 (値段)。  
 ①チョコレートから差を引いて、アイスクリームと同じ値にする。それを2で割る。(アイスクリーム)  
 アイスクリームに差を足す。(チョコレート)  
 (①)アイスクリームに差を足して、チョコレートと同じ値にする。それを2で割る。(チョコレート)  
 チョコレートから差を引く。(アイスクリーム)

<b>【式】</b> ① $4650 \div 15 = 310$ (各1個の和)	(①) $4650 \div 15 = 310$ (各1個の和)
$(310 - 50) \div 2 = 130$ (アイスクリーム)	$(310 + 50) \div 2 = 180$ (チョコレート)
$130 + 50 = 180$ (チョコレート)	$180 - 50 = 130$ (アイスクリーム)

**【答え】** チョコレート 180円    アイスクリーム 130円

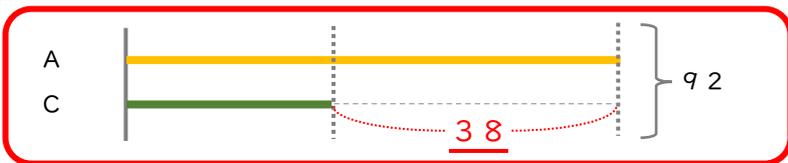
② (和が3つある問題)

3つの整数A、B、Cがあります。AとBの和が100、BとCの和が62、AとCの和が92のとき、Cはいくつになりますか。

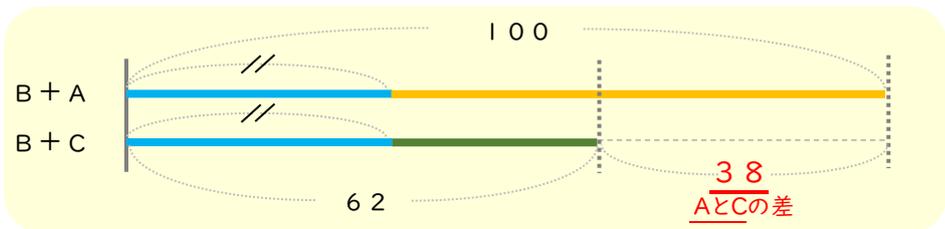
AとBの和が 100  
 BとCの和が 62  
 AとCの和が 92

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が 100 と BとCの和が 62 よりAとCの差を求める。



和と差が分かる



求めるのは Cの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・ AとC 合わせて 92 (和) AとC ちがいは 38 (差)

Aから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

【式】  $100 - 62 = 38$  (AとCの差)  
 $(92 - 38) \div 2 = 27$  (C)

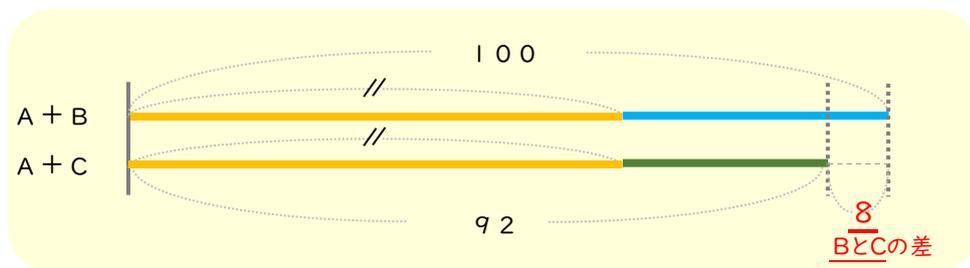
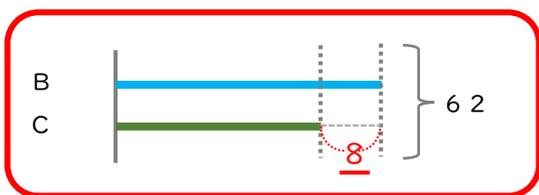
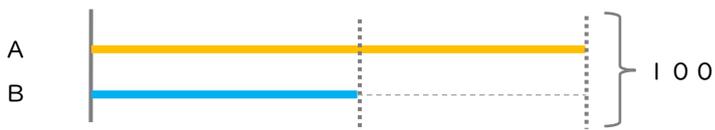
【答え】           C 27

※その他の方法

AとBの和が 100  
 BとCの和が 62  
 AとCの和が 92

3つある和のうち2つの和を使って考える。

☆ AとBの和が 100 と AとCの和が 92 よりBとCの差を求める。



求めるのは Cの値

3つある和のうち2つの和を使って考える。

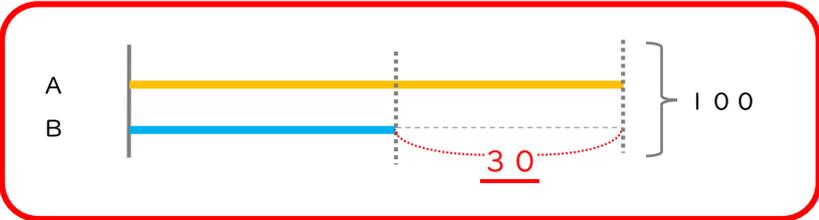
線分図より・・・ BとC 合わせて 62 (和) BとC ちがいは 8 (差)

Bから差を引いて、Cと同じ長さにする。それを2で割る。(C)

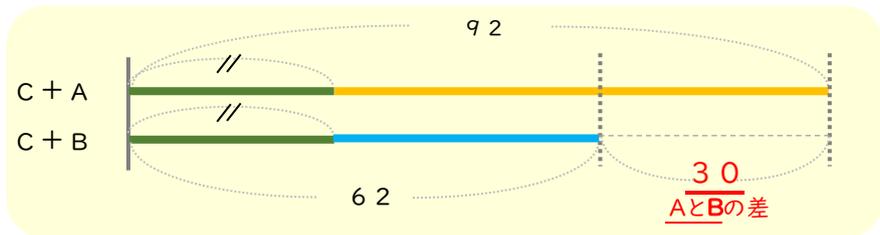
【式】  $100 - 92 = 8$  (BとCの差)  
 $(62 - 8) \div 2 = 27$  (C)

【答え】           C 27

AとBの和が100  
 BとCの和が62  
 AとCの和が92 } 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 ☆ BとCの和が62 と AとCの和が92 よりAとBの差を求める。



和と差が分かる



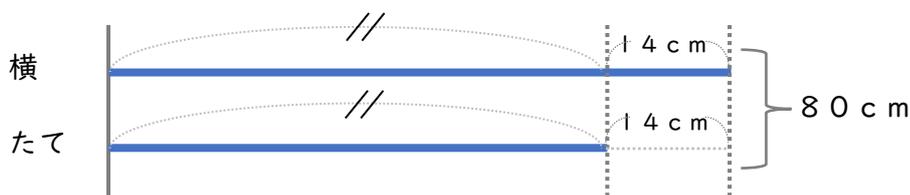
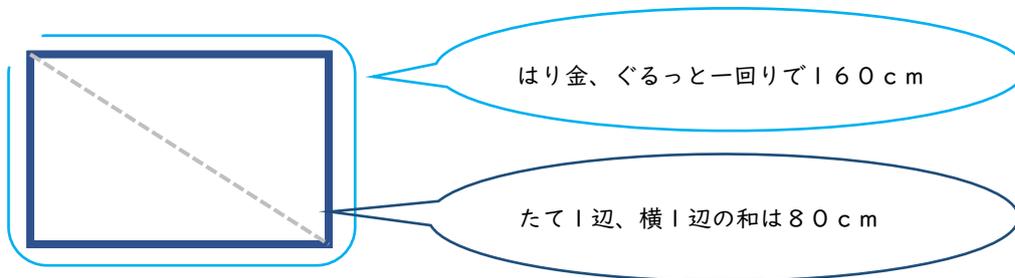
求めるのはCの値  
 3つある和のうち2つの和を使って考える。  
 線分図より・・・AとB 合わせて 100 (和) AとB ちがいは 30 (差)  
 Aから差を引いて、Bと同じ長さにする。それを2で割る。(B) Bに差を足す。(A)  
 $B + C = 62$ なので  $62 - B = C$   
 $A + C = 92$ なので  $92 - A = C$

【式】  $92 - 62 = 30$  (AとBの差)  
 $(100 - 30) \div 2 = 35$  (B)  
 $35 + 30 = 65$  (A)  
 $62 - 35 = 27$  (C)  
 $92 - 65 = 27$  (C)

【答え】           C 27

③ (長方形の問題)

長さが160cmあるはり金を折り曲げて長方形を作ります。横の長さをたての長さより14cm長くするとき、この長方形の面積を求めましょう。



合わせて 80cm (和)      ちがいは 14cm (差)

求めるのは、長方形面積。

- ①横から差を引いて、たてと同じ長さにする。それを2で割る。(たて)    たてに差を足す。(横)
- (①)たてに差を足して、横と同じ長さにする。それを2で割る。(横)    横から差を引く。(たて)

【式】 ①  $160 \div 2 = 80$   
 $(80 - 14) \div 2 = 33$  (たて)  
 $33 + 14 = 47$  (横)  
 $33 \times 47 = 1551$

(①)  $160 \div 2 = 80$   
 $(80 + 14) \div 2 = 47$  (横)  
 $47 - 14 = 33$  (たて)  
 $47 \times 33 = 1551$

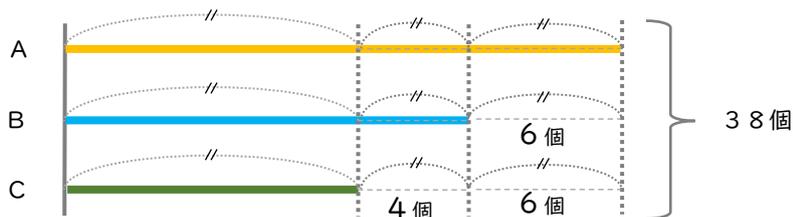
【答え】 1551 cm<sup>2</sup>

④ (割り切れる場合を考える問題)

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、38個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは6個、BくんとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。

線分図は2通りできる。線分図より答えを求め、割り切れた方が正解。

<ケース1・・・BくんがCくんより多いとき (Bが2番目に多いとき)>



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 38 (和)

AとB ちがいは 6 (差) BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは  $6 + 4 + 6 = 16$  (差)

B、Cに差を足してAと同じ個数にする。それを3で割る。(A)

$(38 + 16) \div 3 = 18$  (A)

【式】

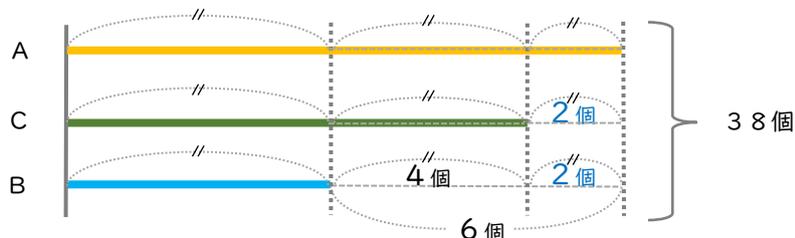
$6 + 4 + 6 = 16$

$(38 + 16) \div 3 = 18$  (A)

【答え】 Aくん 18個

〈ケース2・・・BくんがCくんより少ない場合（Cが2番目に多いとき）〉

Aくん、Bくん、Cくんの3人で、38個のあめを分けました。Aくんは3人の中で1番多くあめをもらい、AくんとBくんの個数のちがいは6個、BくとCくんの個数のちがいは4個でした。Aくんのあめの個数は何個でしょう。



求めるのはAくんの個数なのでAくんに個数を合わせて考えてみる。

3つある和のうち2つの和を使って考える。

線分図より・・・

A、B、C 合わせて 38 (和)

AとB ちがいは 6 (差)    BとC ちがいは 4 (差)

AとB+C ちがいは  $6 + (6 - 4) = 8$  (差)

B、Cに差を足して **Aと同じ個数にする**。それを3で割る。(A)

$(38 + 8) \div 3 = 15 \dots 1$  (A) 割り切れない

ケース2は割り切れないので違う

【式】

$$6 + (6 - 4) = 8$$

$$(38 + 8) \div 3 = 15 \dots 1 \text{ (A) 割り切れないので違う}$$

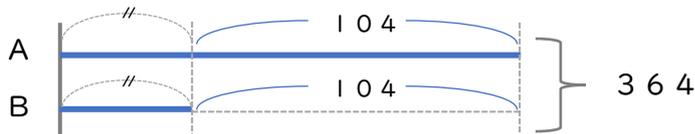
⑤

A, Bの2つの数があります。AはBよりも大きく、その和を2倍しても、その差を7倍しても728になります。それぞれいくつでしょうか。

$$\begin{aligned} (A+B) \times 2 &= 728 & (A-B) \times 7 &= 728 \\ A+B &= 728 \div 2 = 364 & A-B &= 728 \div 7 = 104 \end{aligned}$$

合わせて 364 (和)      ちがいは 104 (差)  
 求めるのは、それぞれの数

- ① Aから差を引いて、Bと同じ値にする。それを2で割る。(B)    Bに差を足してA。  
 (①) Bに差を足して、Aと同じ値にする。それを2で割る。(A)    Aから差を引いてB



【式】 ①  $728 \div 2 = 364$   
 $728 \div 7 = 104$   
 $(364 - 104) \div 2 = 130$  (B)  
 $130 + 104 = 234$  (A)

【式】 (①)  $728 \div 2 = 364$   
 $728 \div 7 = 104$   
 $(364 + 104) \div 2 = 234$  (A)  
 $234 - 104 = 130$  (B)

【答え】         A 234        B 130